

# 令和3年度 全国福祉高等学校長会 第1回理事会

## 文部科学省 情報提供資料

令和3年6月7日(月)  
リモート開催  
全国福祉高等学校長会  
事務局:東奥学園高等学校

教科「福祉」と高等学校「福祉関連学科」基礎資料  
(令和3年度版)

令和3年6月6日作成 基礎資料R03-02



文部科学省初等中等教育局 視学官 矢幅 清司  
(併) 初等中等教育局参事官(高等学校担当) 付産業教育振興室教科調査官  
(併) 国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官  
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 FAX: 03-6734-3730  
TEL: 03-5253-4111(代表[内線]2902) TEL: 03-6734-2334(視学官室)  
〔文部科学省〕E-mail: yahaba@mext.go.jp  
〔国立教育政策研究所〕E-mail: yahaba@nier.go.jp

# 「福祉系高等学校」一覧(令和3年度)

## 「福祉系高等学校」一覧(令和3年度)福祉系高①

通算 番号	現指定 校数	都道府県	設置	学校名	定員
1	1	北海道	公	剣淵高等学校	24
2	2		公	置戸高等学校	40
3	3		公	留寿都高等学校	20
4			私	《指定取消》◆江陵高等学校	
5	4	青森県	私	函館大妻高等学校	40
6	5		私	東奥学園高等学校	80
7	6	岩手県	私	岩手女子高等学校	40
8	7	宮城県	公	登米総合産業高等学校	40
9	8		公	迫桜高等学校	20
10	9	秋田県	私	明成高等学校	40
11	10		公	湯沢翔北高等学校専攻科	20
12	11	山形県	公	六郷高等学校	35
13	12		公	山辺高等学校	40
14	13	茨城県	公	鶴岡中央高等学校	20
15	14		公	古河第二高等学校	40
16	15	栃木県	公	高萩清松高等学校	20
17	16		公	佐野松桜高等学校	30
18	17	群馬県	公	真岡北陵高等学校	30
19	18		公	矢板高等学校	30
20	19	埼玉県	公	伊勢崎興陽高等学校	30
21	20		公	吾妻中央高等学校	40
22	21	千葉県	公	誠和福祉高等学校	40
23	22	東京都	公	松戸向陽高等学校	40
24	23		公	野津田高等学校	35
25		神奈川県	私	《指定取消》◆蒲田女子高等学校	
26	24		公	赤羽北桜高等学校	35
27	25	富山県	公	津久井高等学校	40
28	26		公	川崎高等学校	40
29	27	石川県	公	南砺福野高等学校	30
30	28	福井県	公	田鶴浜高等学校	40
31	29		私	奥越明成高等学校	30
32			私	《指定取消》◆啓新高等学校	

33		山梨県	私	《指定取消予定》◆甲斐清和高等学校	
34	30	長野県	私	エクセラシオン高等学校	20
35	31		私	松本国際高等学校	20
36	32	岐阜県	公	岐阜各務野高等学校	40
37	33		公	坂下高等学校	40
38	34	静岡県	公	大垣桜高等学校	40
39	35		公	清流館高等学校	40
40	36	静岡県	公	磐田北高等学校	40
41	37		私	静岡女子高等学校	40
42	38	静岡県	私	知徳高等学校	40
43	39		私	浜松修学舎高等学校	35
44	40	愛知県	公	海翔高等学校	40
45	41		公	古知野高等学校	40
46	42	三重県	公	高浜高等学校	40
47	43		公	宝陵高等学校	40
48	44	三重県	公	西陵高等学校	25
49	45		公	みえ夢学園高等学校	16
50	46	滋賀県	公	伊賀白鳳高等学校	24
51	47		公	朝明高等学校	20
52	48	京都府	公	明野高等学校	25
53	49		公	長浜北星高等学校	40
54	50	京都府	私	綾羽高等学校	40
55	51		公	京都八幡高等学校	30
56	52	大阪府	私	《指定取消》◆京都聖カトリック高等学校	
57			公	淀商業高等学校	40
58	53	兵庫県	私	《指定取消》◆東大阪大学敬愛高等学校	
59			私	昇陽高等学校	60
60	54	兵庫県	公	日高高等学校	40
61	55		公	龍野北高等学校	40
62	56	兵庫県	公	武庫荘総合高等学校	40
63	57		私	《指定取消》◆夙川学院高等学校	
64		奈良県	私	須磨ノ浦女子高等学校	26
65	58		公	榛生昇陽高等学校	40
66	59				

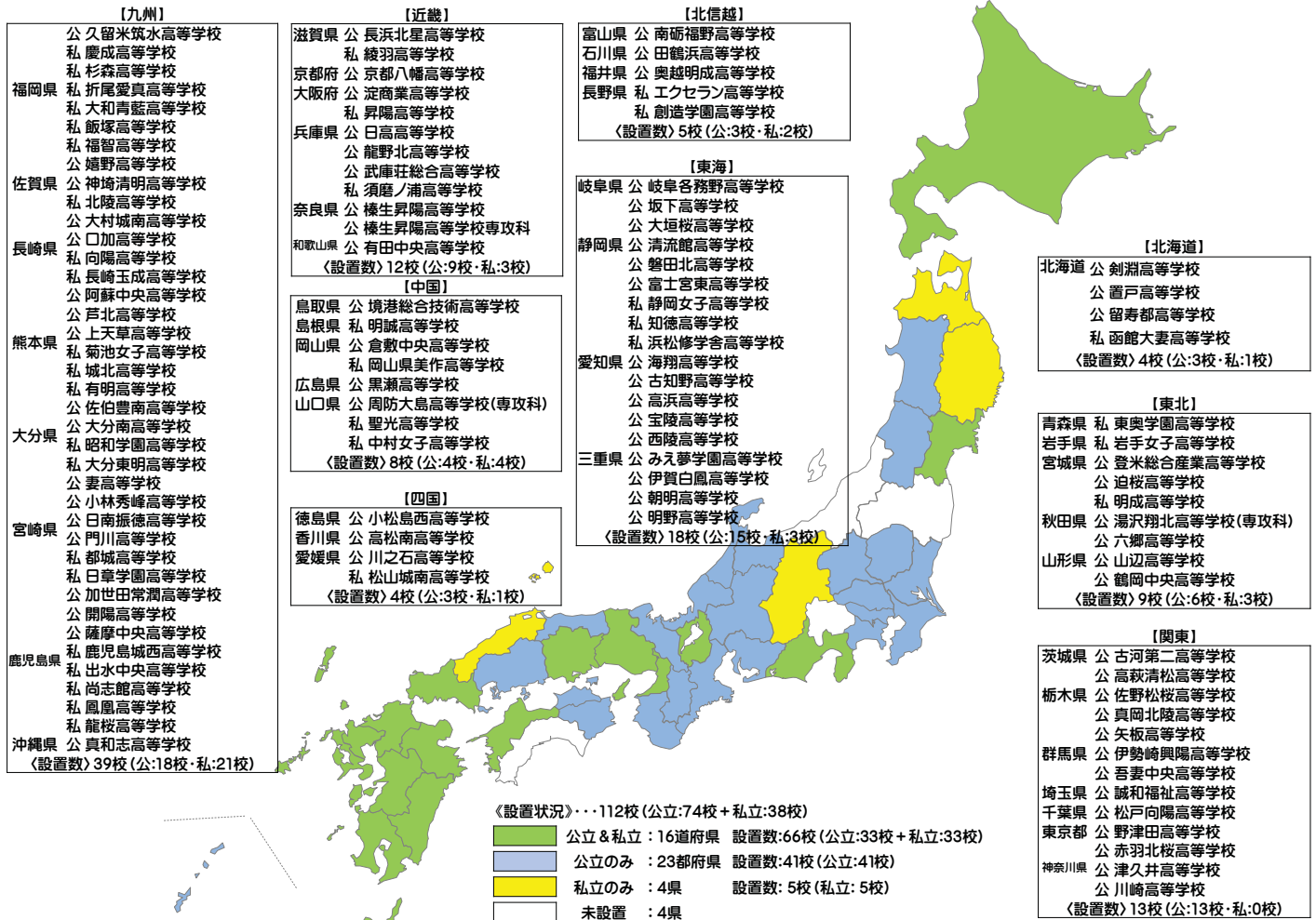
# 「福祉系高等学校」一覧(令和2年度)福祉系高②

67	60	奈良県	公	榛生昇陽高等学校専攻科	20
68	61	和歌山県	公	有田中央高等学校	26
69			私	《指定取消》◆高野山高等学校	
70	62	鳥取県	公	境港総合技術高等学校	38
71	63	島根県	私	明誠高等学校	40
72	64		公	倉敷中央高等学校	40
73		岡山県	私	《指定取消》◆創志学園高等学校	
74	65		私	岡山県美作高等学校	35
75	66	広島県	公	黒瀬高等学校	40
76	67	山口県	公	周防大島高等学校(専攻科)	20
77	68		私	聖光高等学校	30
78	69	徳島県	私	中村女子高等学校	40
79	70		公	小松島西高等学校	35
80	71	香川県	公	高松南高等学校	30
81			私	《指定取消》◆尽誠学園高等学校	
82	72	愛媛県	公	川之石高等学校	25
83	73		私	松山城南高等学校	40
84	74		公	久留米筑水高等学校	40
85			私	《指定取消》◆啓知高等学校	
86			私	《指定取消》◆美萩野女子高等学校	
87	75	福岡県	私	慶成高等学校	90
88	76		私	杉森高等学校	40
89	77		私	折尾愛真高等学校	26
90	78		私	大和青藍高等学校	40
91	79		私	飯塚高等学校	40
92	80		私	福智高等学校	40
93			公	《指定取消》◆多久高等学校	
94	81	佐賀県	公	嬉野高等学校	26
95	82		公	神埼清明高等学校	26
96	83		私	北陵高等学校	40
97	84	長崎県	公	大村城南高等学校	26

98	85	長崎県	公	口加高等学校	26
99	86		私	向陽高等学校	40
100	87		私	長崎玉成高等学校	20
101	88		公	阿蘇中央高等学校	40
102	89		公	芦北高等学校	40
103	90		公	上天草高等学校	40
104		熊本県	私	《指定取消》◆慶誠高等学校	
105	91		私	菊池女子高等学校	25
106	92		私	城北高等学校	40
107	93		私	有明高等学校	40
108	94	大分県	公	佐伯豊南高等学校	40
109	95		公	大分南高等学校	80
110	96		私	昭和学園高等学校	40
111	97		私	大分東明高等学校	40
112	98		公	妻高等学校	40
113	99		公	小林秀峰高等学校	40
114	100	宮崎県	公	日南振徳高等学校	40
115	101		公	門川高等学校	40
116	102		私	都城高等学校	20
117	103		私	日章学園高等学校	40
118	104		公	加世田常潤高等学校	40
119	105		公	開陽高等学校	40
120	106		公	薩摩中央高等学校	40
121	107	鹿児島県	私	鹿児島城西高等学校	30
122			私	《指定取消》◆鹿児島情報高等学校	
123	108		私	出水中央高等学校	40
124	109		私	尚志館高等学校	30
125	110		私	鳳凰高等学校	40
126	111		私	龍桜高等学校	35
127	112	沖縄県	公	真和志高等学校	40

※福祉系高等学校の指定総数:125校・125課程(指定取消済:15校・15課程 ◆印)  
 ※令和3年度生徒募集:112校112課程・定員:4,029人  
 【今年度新設校】 【設置計画(市長会見)】  
 ・東京都立赤羽北校高等学校 ・明石市立明石商業高等学校  
 ・奈良県立榛生昇陽高等学校専攻科

## 福祉系高等学校等の設置状況(令和3年4月現在)



# 介護福祉士を養成する福祉系高等学校等の状況

《指定状況：指定総数》

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	合計
福祉系 高等学校	5	9	14	7	18	16	9	5	44	127
	3	6	13	3	15	9	4	3	19	75
	2	3	1	4	3	7	5	2	25	52
特例 高等学校	0	4	3	0	0	3	2	4	1	17
	0	4	1	0	0	1	2	4	1	13
	0	0	2	0	0	2	0	0	0	4
合 計	5	13	17	7	18	19	11	9	45	144
	3	10	14	3	15	10	6	7	20	88
	2	3	3	4	3	9	5	2	25	56

※上段：計、中段：公立、下段：私立

《現在の状況：生徒が在籍している学校》

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	合計
福祉系 高等学校	4	9	13	5	18	12	8	4	39	112
	3	6	13	3	15	9	4	3	18	72
	1	3	0	2	3	3	4	1	21	40
特例 高等学校										
合 計	5	9	12	5	18	11	8	4	40	112
	3	6	12	3	15	8	4	3	18	72
	2	3	0	2	3	3	4	1	22	40

※上段：計、中段：公立、下段：私立

【福祉系高等学校の設置及び計画】

- ・今年度設置 令和3年度：東京都立赤羽北桜高等学校・福祉科、奈良県立榛生昇陽高等学校・専攻科
- ・設置計画 令和5年度：明石市立明石商業高等学校・福祉科

7

## 学校基本調査における「福祉」に関する学科

【学校基本調査】

項目	学校数	入学志願者			入学者計			在校生数			学年別			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	第1 学年	第2 学年	第3 学年	合計
平成26年度	98	1,597	4,151	5,748	825	2,558	3,383	2,276	7,559	9,835	3,416	3,317	3,102	9,835
平成27年度	98	1,487	3,864	5,351	766	2,444	3,210	2,230	7,415	9,645	3,216	3,230	3,199	9,645
平成28年度	95	1,228	3,635	4,863	673	2,338	3,011	2,094	7,106	9,200	3,014	3,063	3,123	9,200
平成29年度	97	1,236	3,477	4,713	698	2,211	2,909	1,999	6,770	8,769	2,934	2,875	2,960	8,769
平成30年度	99	1,179	3,548	4,727	663	2,287	2,950	1,875	6,659	8,534	2,954	2,788	2,792	8,534
平成31年度	100	1,174	3,340	4,514	646	2,232	2,878	1,815	6,427	8,242	2,885	2,733	2,624	8,242
令和02年度	97	1,083	2,950	4,033	634	2,019	2,653	1,778	6,252	8,030	2,658	2,737	2,635	8,030

(令和02年度)男女比：男子(22.14%)・女子(77.16%)、志願倍率(志願者数÷入学者数)=1.52倍

※学校数には専攻科(2校)を含まない数を掲載しており、専攻科を含めると99校となる。

※学科数：「福祉に関する専門学科」の設置数(介護福祉士養成課程であるかは問わない)、専攻科：2校は含まない。

※介護福祉士養成校として指定を受けている学校数：93校(6校は介護福祉士国家試験の受験資格は無い)

【指導主事提出資料】

	介護福祉士養成課程			研修課程					科目 設置校	合 計
	福祉系高	特例高	計	実務者	初任者	生活援助 従事者研修	入門的 研修	計		
学校数	111	14	125	20	298	2	3	323	126	574
1学年	3,185	0	3,185	1,398	19,123	358	527	21,406	13,882	38,473
2学年	2,601	0	2,601	425	7,980	35	223	8,663	6,279	17,543
3学年	2,433	241	2,674	422	7,682	36	238	8,378	6,660	17,712
4学年	6	0	6	5	96	0	0	101	81	188
合 計	8,225	241	8,466	2,250	34,881	429	988	38,548	26,902	73,916

(介護福祉士養成校の指定)

- ・普通科  
須磨ノ浦高・美作高・折尾愛真高
- ・総合学科  
剣淵高・迫桜高・鶴岡中央高・高萩清松高・伊勢崎興陽高・西陵高・みえ夢学園高・長浜北星高・有田中央高・川之石高・神埼清明高・嬉野高・大村城南高)
- ・福祉に関する学科以外の専門学科  
留寿都高・山辺高・大分東明高
- ※学科別の就職データなどは学校基本調査をもとにしており、福祉科と福祉系高等学校(介護福祉士養成校)とは異なっている。

8

# 福祉系高等学校の進路状況（平成23年度～令和元年度）

## 【指導主事提出資料】

		令和元年度 (110校)		平成30年度 (110校)		平成29年度 (125校)		平成28年度 (112校)		平成27年度 (125校)	
卒業生総数		2,582	100.0%	2,771	100.0%	3,129	100.0%	3,026	100.0%	3,245	100.0%
進学	進学者総数	1,150	44.5%	1,211	43.7%	1,465	46.8%	1,306	43.2%	1,420	43.8%
	福祉進学者数(A)	639	24.7%	646	23.3%	699	22.3%	727	24.0%	792	24.4%
	(A)の福祉進学の割合	55.6%		53.3%		47.7%		55.7%		55.8%	
就職	就職者総数	1,349	52.2%	1,475	53.2%	1,582	50.6%	1,651	54.6%	1,723	53.1%
	福祉就職者数(B)	1,129	43.7%	1,225	44.2%	1,335	42.7%	1,474	48.7%	1,553	47.9%
	(B)の福祉就職の割合	83.7%		83.1%		84.4%		89.3%		90.1%	
福祉系進路合計(A+B)		1,768	68.5%	1,871	67.5%	2,034	65.0%	2,201	72.7%	2,345	72.3%
その他(C)		83	3.2%	85	3.1%	82	2.6%	69	2.3%	102	3.1%

### <進路状況>

平成19年の社会福祉士及び介護福祉士法の改正を受け、新養成カリキュラムを履修し平成23年度以降に卒業した生徒の進路をみると、以下のとおりである。  
 ・進学者の割合が少しずつ増加し約4割、就職者の割合は微減しているが約5割強を保っている。  
 ・福祉関係の進路をした生徒の割合は、約7割となっている。  
 進学者のうち福祉関連分野への進学：5割強  
 就職者のうち福祉関連分野への就職：8割強  
 ・その他の割合が約3%と少ない。

		平成26年度 (144校)		平成25年度 (146校)		平成24年度 (162校)		平成23年度 (162校)		合 計	
		3,867	100.0%	3,837	100.0%	3,860	100.0%	3,485	100.0%	29,802	100.0%
		1,595	41.2%	1,530	39.9%	1,498	38.8%	1,322	37.9%	12,497	41.9%
		892	23.1%	792	20.6%	894	23.2%	776	22.3%	6,857	23.0%
		55.9%		51.8%		59.7%		58.7%		54.9%	
		2,134	55.2%	2,128	55.5%	2,238	58.0%	2,038	58.5%	16,318	54.8%
		1,790	46.3%	1,797	46.8%	1,921	49.8%	1,773	50.9%	13,997	47.0%
		83.9%		84.4%		85.8%		87.0%		85.8%	
		2,682	69.4%	2,589	67.5%	2,815	72.9%	2,549	73.1%	20,854	70.0%
		138	3.6%	179	4.7%	124	3.2%	125	3.6%	987	3.3%

9

## 令和3年3月新規高等学校卒業者の就職状況（令和3年3月末現在）

### <結果の概要>

#### 1. 就職希望者数・就職者数等

卒業生1,017,259人(前年同期1,041,827人) 就職希望者161,093人(前年同期182,634人)

※うち就職者157,728人(前年同期179,243人) うち未就職者3,365人(前年同期3,391人)

#### 2. 就職率(就職者の就職希望者に対する割合) 97.9%(前年同期比0.2ポイント減)

○男女別就職率 男子98.4%(前年同期比0.1ポイント減) 女子97.1%(前年同期比0.4ポイント減)

○学科別就職率(就職率が高い順) 「工業」99.4%、「看護」99.2%、「農業」99.0%、「福祉」99.0%、「商業」98.7%、「水産」98.6%、「家庭」97.9%、「総合学科」97.8%、「情報」97.0%、「普通」95.9%

※「その他」の学科は除く。

※「看護」に関する学科は看護師5年一貫課程が主となるため、5年課程5年次の就職率を示している。

#### ○都道府県別就職率

就職率が高い県

富山県99.9%、福井県99.8%、三重県99.7%、鳥取県99.6%、山口県99.6%、佐賀県99.5%、福島県99.5%、新潟県99.5%

就職率が低い県

沖縄県92.4%、神奈川県94.6%、東京都95.2%、千葉県95.3%、大阪府95.5%

#### ○東日本大震災における被害が甚大な3県

岩手県98.8%(前年同期比-0.2)宮城県98.7%(前年同期比-0.5)福島県99.5%(前年同期比-0.2)

	卒業予定者数 (人)	就職希望者数(人)			就職内定者数(人)			就職率(%)			県内外割合	
		県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外
【普通】	746,409	46,471	7,331	53,802	44,080	7,541	51,621	94.85%	102.86%	95.95%	85.39%	14.61%
農業	24,604	10,629	1,684	12,313	10,475	1,715	12,190	98.55%	101.84%	99.00%	85.93%	14.07%
工業	76,430	36,968	12,635	49,603	36,662	12,657	49,319	99.17%	100.17%	99.43%	74.34%	25.66%
商業	58,958	19,783	2,935	22,718	19,437	2,997	22,434	98.25%	102.11%	98.75%	86.64%	13.36%
水産	2,715	1,118	539	1,657	1,112	522	1,634	99.46%	96.85%	98.61%	68.05%	31.95%
家庭	11,588	3,167	858	4,025	3,107	832	3,939	98.11%	96.97%	97.86%	78.88%	21.12%
看護3-3	895	51	3	54	48	3	51	94.12%	100.00%	94.44%	94.12%	5.88%
看護5-3	3,564	32	3	35	27	3	30	84.38%	100.00%	85.71%	90.00%	10.00%
看護5-5	3,356	2,092	1,123	3,215	2,080	1,110	3,190	99.43%	98.84%	99.22%	65.20%	34.80%
情報	1,097	189	48	237	182	48	230	96.30%	100.00%	97.05%	79.13%	20.87%
福祉	2,612	1,071	130	1,201	1,051	138	1,189	98.13%	106.15%	99.00%	88.39%	11.61%
その他	34,827	1,250	383	1,633	1,193	386	1,579	95.44%	100.78%	96.69%	75.55%	24.45%
総合	53,560	12,253	1,562	13,815	11,915	1,597	13,512	97.24%	102.24%	97.81%	88.18%	11.82%
合計	1,020,615	135,074	29,234	164,308	131,369	29,549	160,918	97.26%	101.08%	97.94%	81.64%	18.36%

資料：文部科学省「高等学校卒業(予定)者の就職(内定)状況に関する調査(令和3年3月末現在)」 令和3年5月18日

# 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応

「新型コロナウイルス感染症に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について」

《事務連絡》(令和3年5月14日発出)

《事務連絡》(令和2年6月1日発出)

《事務連絡》(令和2年2月28日発出)

## 令和3年5月14日付事務連絡（抜粋）

〈文部科学省ホームページ〉

・文部科学省 ([mext.go.jp](https://www.mext.go.jp))

<https://www.mext.go.jp/index.htm>

・新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/coronavirus/index.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html)

・教育委員会・学校等関係の皆様へ

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/coronavirus/index.html#a002](https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html#a002)

・幼小中高・特別支援学校に関する情報

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/coronavirus/mext\\_00015.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00015.html)

・資格試験・講習について

[https://www.mext.go.jp/content/20210603-mxt\\_kouhou01-000004520\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20210603-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf)

「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について（令和3年5月14日）」

【前書き】

令和2年6月1日付事務連絡により、その取扱いを周知しているところですが、今年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により実習施設の確保が困難であることが想定されることから、基本的には同様の対応としますので、引き続き適切に御対応くださいますようお願いいたします。

【加筆のポイント】

- ・また、ワクチン接種やPCR検査等について、実習施設側に対し、学校養成所等としての感染防護の取組状況や、学校養成所等側が行っている学内外での感染対策や実習前後での学生等への感染管理教育の内容等を説明し、**検査等が実習の受入れの必須要件にならないよう、受入れ機関との対話を積極的に行うよう努めてください。**
- ・仮に、医療関係職種の実習を行う際に、病院等の実習施設から学生等の受入れに当たって新型コロナウイルス感染症向けのワクチン接種を求められた場合において、早期の接種が必要と判断される場合には、学校養成所等におかれては、**可能な限り実習施設となっている病院での接種を受けられるよう調整してください。**その際、**ワクチン接種は、あくまで任意のものであるので、学生等に強制することのないよう実習先に説明し理解を求めてください。**

## 令和2年6月1日付事務連絡（抜粋）

新型コロナウイルス感染症に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について

1. 学校養成所等の運営に係る取扱い
  - (1) 学校養成所等にあつては、新型コロナウイルス感染症の対応等により、実習中止、休講等の影響を受けた学生等と影響を受けていない学生等の間に、修学の差が生じることがないように配慮するとともに学生等に対して十分な説明を行うこと。
  - (2) 学校養成所等にあつては、新型コロナウイルス感染症の影響により、教員の不足や施設・設備が確保できない等、十分な教育体制を整えることが困難な場合が生じることが想定される。  
こうした学校養成所等においては、できる限り速やかに十分な教育体制を整備することが望ましいが、当面の間は、**非常勤教員の確保や教室の転用・兼用等**により、**必要最低限の教育体制を整えること**として差し支えないこと。
  - (3) 学校養成所等にあつては、新型コロナウイルス感染症の影響により実習施設の受け入れの中止等により、実習施設の変更が必要となることが想定される。  
実習施設を変更する際には、あらかじめ当該変更に係る承認を受けることとされているが、今般の新型コロナウイルス感染症を受け迅速な対応が必要であることに鑑み、承認申請に係る時期については弾力的に取り扱って差し支えないこと。  
実習施設の変更を検討したにもかかわらず、実習施設の確保が困難である場合には、**年度をまたいで実習を行って差し支えないこと**。なお、これらの方法によってもなお実習施設等の代替が困難である場合、**実状を踏まえ実習に代えて演習又は学内実習等**を実施することにより、必要な知識及び技能を修得することとして差し支えないこと。その際、学校養成所等は学生等に対し、代替的な学修の趣旨や狙い、到達目標等について十分に説明するよう留意願いたいこと。
  - (4) 上記(3)の取扱いについては、当面の間、医療関係職種等の国家資格の養成施設として指定する規則に示された実習内容の変更に関する承認申請・届出は不要であるが、今後、実施結果について改めて調査を行うことがあり得るので、しっかりと整理されること。
  - (5) 今後、現在の状況が続くことも想定されることも踏まえ、学校養成所等においては、各資格の本旨に鑑み、可能な限り必要な科目（課目・教育内容）が受講できるよう実習や講義の実施方法を工夫されること。例えば、実習を行うに際しては、**受講人数を分散**させる、受講会場には一度に入れる人数を当該会場の規模に応じた適切な人数のみに絞るなど、感染リスクに配慮すること。

13

## 令和2年6月1日付事務連絡（抜粋）

2. 受験資格に係る取扱い
  - (1) 今般の新型コロナウイルス感染症の対応により実習中止、休講等が生じ、授業の実施期間が例年に比べて短縮された場合であっても、当該学校養成所等において**必要な単位もしくは時間を履修し**、又は当該学校養成所等を**必要な単位もしくは時間を履修して卒業（修了）**した者については、従来どおり、各医療関係職種等の国家試験の**受験資格が認められること**。
  - (2) 新型コロナウイルス感染症に関連する実習中止、休講等の対応を受けた学生等は、他の学生等より修業が遅れることが想定される。こうした場合であっても、当該学校養成所等において**必要な単位もしくは時間（実習が中止の場合、当該学校養成所等において実習に替わり得る学修として各学校養成所等で配当した単位もしくは時間を含む）を履修し**、又は当該学校養成所等を**必要な単位もしくは時間（実習が中止の場合、当該学校養成所等において実習に替わり得る学修として各学校養成所等で配当した単位もしくは時間を含む）を履修して卒業（修了）**した者については、従来どおり、各医療関係職種等の国家試験の**受験資格が認められること**。
  - (3) (1)及び(2)の取扱いは、学校養成所等における**教育内容の縮減を認めるものではないこと**から、学校養成所等にあつては、**時間割の変更、補講授業、インターネット等を活用した学修、レポート課題の実施等**により必要な教育が行われるよう、特段の配慮をお願いしたいこと。
3. 学校養成所等におけるICTを活用した遠隔授業等について  
遠隔授業の活用や授業の弾力的な取扱い等については、「令和2年度における大学等の授業の開始等について（通知）」（令和2年3月24日付元文科高第1259号）等、「学事日程等の取扱い及び遠隔授業の活用に係るQ&A」（令和2年5月22日付事務連絡）等及び「遠隔授業等の実施に係る留意点及び実習等の授業の弾力的な取扱い等について」（令和2年5月1日付事務連絡）等において示されており、学校養成所等においてもこれらを参考にされ、実施に際しては御留意いただきたいこと。

14

## 4. 実習等に関する各学校養成所等での実践事例等

既にくいつかの学校養成所等においては、以下のような取組が行われている、もしくは実施が予定されている。各学校養成所等で実施に向けた環境や課題が異なることは十分に考えられるが、適宜参照の上、対応いただきたいこと。

- (1) 三密を避けた状態での、シミュレーターを用いての基本手技の実習。
- (2) オンラインによる模擬実習（カンファランス、ミニ講義、手術や手技のビデオ供覧と解説、試問、レポート提出）。
- (3) オンラインによる臨床推論能力の養成を目的とする授業。
- (4) 研究棟や講義棟での電子カルテを用いた症例検討や動画視聴、シミュレーターによる技能学習（人数制限並びに部屋の換気等感染防止措置を実施。）。
- (5) 実習の臨床実習予習ノートを用いたe-Learningによる在宅学習（各実習の指導教員がメールでの質問へ回答）。
- (6) 事例データベースを作成し、事例データベースを基に、学内においてシミュレーション教育を実施。
- (7) 臨床実習指導者参加型遠隔指導システムを活用し、書面や動画を含めて臨床推論指導を実施。
- (8) 実習先講師を招聘し、実習先での状況や実習を行った時の対応など、通常より現場に近い授業演習を実施。
- (9) 臨地（病室、在宅、居室）と大学をオンライン接続し、以下の内容の学内実習を行う。
  - ・臨床実習への協力の同意を得た患者にオンラインで聴取する。
  - ・指導教員が収集した患者の日々の様子の映像情報を用いて、計画を策定する。
  - ・リアルタイムの患者の状況を確認・評価しながら、日々の計画を策定する。
  - ・学生が役割分担するなどにより、学内でのロールプレイを通じて技術を修得する。

## 5. 福祉系高校における教員の研修について

社会福祉士介護福祉士学校指定規則第8条第四号及び第五号に規定する文部科学大臣及び厚生労働大臣が別に定める基準第1項第二号に掲げる研修について、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度実施する研修の受入施設の確保が困難な場合等には、**次年度において研修環境が整い次第、速やかに受講することも考えられること。**

→教員介護知識技能講習は2回を上限としているが、コロナ対応として3回以上の受講を可能とする。

※項目：「6」〈省略〉

15

## 対応の基本的な方向性

新型コロナウイルス感染症の発生に伴う福祉系高等学校における対応の基本的な方向性は、感染者が出た場合、教育機関としての責任や生徒・家族等への影響は計り知れないことから、生徒及び関係者（教員・施設指導者・利用者・家族等）の**感染防止・安全確保を何よりも最優先した上で慎重かつ万全を期す**とともに、資格取得に向けた生徒への**教育保障**を行うことである。

### 1. 介護実習について

- (1) 「新型コロナウイルス感染症の影響により実習施設の受け入れの中止等により、実習施設の変更が必要となることが想定される」について、中止等を判断するため、施設の受け入れ状況を整理・記録しておくこと。
- (2) 「実習施設を変更する際には、あらかじめ当該変更に係る承認を受けることとされているが、今般の新型コロナウイルス感染症を受け迅速な対応が必要であることに鑑み、承認申請に係る時期については弾力的に取り扱って差し支えない」について、新型コロナウイルスの影響下においては、実習開始以降に申請しても良いこと。
- (3) 「実習施設の変更を検討したにもかかわらず、実習施設の確保が困難である場合には、年度をまたいで実習を行って差し支えない」について、受け入れ可能な施設が見つからない場合には次年度に実習を行っても良いこと。ただし、最終学年の生徒は次年度がないので気を付けること。
- (4) 「これらの方法によってもなお実習施設等の代替が困難である場合、実状を踏まえ実習に代えて演習又は学内実習等を実施することにより、必要な知識及び技能を修得することとして差し支えない」について、前記対応しても実習を行うことが難しい場合、実習の目標等に照らし必要な知識及び技能を修得できる演習又は学内実習等に介護実習を代替することが可能なこと。
- (5) 「学校養成所等は学生等に対し、代替的な学修の趣旨や狙い、到達目標等について十分に説明する」について、施設における実習を演習等に代替する旨を生徒及び保護者・施設関係者等への説明をすること。

16



## 対応の基本的な方向性

### 【注意点】

- ・最終的な実習の判断は設置者及び学校  
施設における実習を演習又は学内実習等に代える判断は、施設の受入れ状況のほか、生徒が運んでしまうリスク等を勘案し、設置者及び学校が判断することになる。担当教員だけでなく、管理職及び設置者（教育委員会）とよく相談し判断する必要がある。
  - ・介護実習の延期のリスク  
介護実習を延期しても実施できるか不確定なことから、規定時間確保が困難になったり、年末や年度末時の過重負担等がリスクが想定される。リスクを軽減するため、当初計画していた実習期間に実習代替として校内実習・演習を実施し、施設での介護実習が可能になった時に、残る時間を施設実習にするなどの検討が必要である。
- ### 【実習代替の演習又は学内実習の内容等】
- ・学習指導要領に規定されている科目「介護実習」の指導項目「多様な介護の場における実習（コミュニケーションの実践・介護技術の実践・多職種協働及びチームケアの理解）」、「個別ケアを理解するための継続した実習（個別的な介護技術の実践・介護過程の実践）」を参考にすること。
  - ・事例ごとの介護技術の演習のほか、ケアプランの作成や介護の動画視聴、介護技術コンテストの取組等、多彩な内容・指導方法が考えられること。

### 2. 各科目の規定時間確保への対応

- (1) 「教育内容の縮減を認めるものではない」の記述から、介護福祉士養成として求められる教育内容は過不足なく全て指導する必要があること。
- (2) 「時間割の変更、補講授業、インターネット等を活用した学修、レポート課題の実施等」の記述から、各学校の状況に応じて学習内容・指導方法を検討し、指導を展開する必要があること。
- (3) レポート課題の実施等をもって必要な指導がなされたとみなし、授業時間としてカウントすることを可能としていることから、時間（単位数）・内容・質を担保することが求められる。各科目の担当教員が教育内容に替わる課題を作成・評価し、単位を認定する必要があること。

17

## 対応の基本的な方向性

今回の事務連絡は介護福祉士養成課程・実務者研修を対象として発出されたものであり、教育内容免除や時間数減は認められていない。各学校の状況に応じて事務連絡に即した適切な指導を実施するとともに、有為な福祉・介護人材の育成に努めていただきたい。

### 〈参考リンク〉

- ・文部科学省：(8)福祉  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/gakusyushien/mext\\_00461.html#hukusi](https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00461.html#hukusi)
- ・文部科学省：福祉科・看護科\_資料動画  
[https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbAful1xJpUQgxr\\_IPxGfUym](https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbAful1xJpUQgxr_IPxGfUym)
- ・高校「福祉」教員：コロナウィルス対応等  
<https://fukushikyoin.sakura.ne.jp/top/>
- ・社会福祉・介護福祉検定：学習教材等  
<http://www.syakaifukukentei.jp/>

〈専門学校等の参考リンク：Afterコロナの時代の「新しい学びの姿」オンラインセミナー〉

★掲載場所：文部科学省YouTubeチャンネル

- ・総集編：[https://www.youtube.com/watch?v=8t-kzvG6fZc&list=PLGpGsGZ3lmbDKeg0m-7\\_Qse7lWCeddEk&index=2&t=0s](https://www.youtube.com/watch?v=8t-kzvG6fZc&list=PLGpGsGZ3lmbDKeg0m-7_Qse7lWCeddEk&index=2&t=0s)
- ・再生リスト：[https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbDKeg0m-7\\_Qse7lWCeddEk](https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbDKeg0m-7_Qse7lWCeddEk)
  - ①関西看護専門学校（看護）
  - ④トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校（教育・社会福祉）
  - ⑩仙台リハビリテーション専門学校（医療）

〈厚生労働省ホームページ〉

「新型コロナウイルス感染症に係る介護員養成研修（介護職員初任者研修・生活援助従事者研修）の臨時的な取扱いについて（令和2年4月30日）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000626719.pdf>

18

# 新学習指導要領と教科「福祉」

改訂の背景と基本的な考え方、学習評価について

## 学習指導要領改訂の背景

人工知能が進化して、  
人間が活躍できる職業は  
なくなるのではないか。

今学校で教えていることは、  
時代が変化したら  
通用しなくなるのではないか。

子供たちに、情報化やグローバル化など急激な社会的変化の中でも、  
**未来の創り手となるために必要な資質・能力を**  
**確実に備えることのできる学校教育を実現する。**

**よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を作るという目標を学校と社会が共有して実現**

社会や産業の構造が変化し、質的な豊かさが成長を支える成熟社会に移行していく中で、私たち人間に求められるのは、定められた手続を効率的にこなしていくにとどまらず、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかを考え、主体的に学び続けて自らの能力を引き出し、自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働したりして、新たな価値を生み出していくことであるということ、そのためには生きて働く知識を含む、これからの時代に求められる資質・能力を学校教育で育成していくことが重要であるということを、学校と社会とが共通の認識として持つことができる好機にある。

**学校教育のよさをさらに進化させるため、学校教育を通じて子供たちが身に付けるべき資質・能力や学ぶべき内容などの全体像を分かりやすく見渡せる「学びの地図」として、学習指導要領を示し、幅広く共有**

- ・これからの時代に求められる知識や力とは何かを明確にし、教育目標に盛り込む。これにより、子供が学びの意義や成果を自覚して次の学びにつなげたり、学校と地域・家庭とが教育目標を共有してカリキュラム・マネジメントが実現しやすくなる。
- ・生きて働く知識や力を育む質の高い学習過程を実現するため、各教科における学びの特質を明確にするとともに、授業改善の視点（「アクティブ・ラーニングの視点」）を明確にする。これにより、教科の特質に応じた深い学びと、我が国の強みである「授業研究」を通じたさらなる授業改善が実現する。

# 学習指導要領改訂の考え方

## 新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

### 何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

**「社会に開かれた教育課程」**の実現

各学校における**「カリキュラム・マネジメント」**の実現

### 何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた  
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の  
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

**学習内容の削減は行わない**※

※高校教育については、些末な事実に基づく知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、  
そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

### どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・  
ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための  
学習過程の質的改善



## 改訂の基本的な考え方

「社会に開かれた教育課程」の実現のため、「何を学ぶか」だけでなく、「何ができるようになるか」や、そのために「どのように学ぶか」までを見通した改訂。

### 何ができるようになるか

育成すべき資質・能力の明確化

- ・全ての教科目標及び科目目標について、育成を目指す「資質・能力」(**①知識及び技術、②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力、人間性等**)の三つの柱に沿って再整理。

### どのように学ぶか

「主体的・対話的で深い学び」の実現

- ・各科目の指導計画の作成における配慮事項として、資質・能力の育成に向けて、生徒の**「主体的・対話的で深い学び」を図る**ようにすることを明記。

### 何を学ぶか

産業界で必要とされる人材を踏まえ改善

- ・地域や社会の発展を担う職業人を育成するため、社会や産業の変化の状況等を踏まえ、**①持続可能な社会の構築、②情報化の一層の進展、③グローバル化**などへの対応の視点から各教科の教育内容を改善。

# 育成すべき資質・能力の明確化①

各教科の「目標」の記述を、「知識及び技術」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の3つの柱で再整理

## 目標

### 福祉<現行> 第1款 目標

社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的、体験的に習得させ、社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てる。

### 福祉<改訂後>

#### 第1款 目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

⇒【知識及び技術】

(2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

⇒【思考力・判断力・表現力等】

(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

⇒【学びに向かう力、人間性等】

## 内容

### 第1 社会福祉基礎<現行> 2 内容

- (1) 社会福祉の理念と意義  
ア 生活と福祉  
イ 社会福祉の理念  
ウ 人間の尊厳と自立

### 第1 社会福祉基礎<改訂後>

#### 2 内容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。  
〔指導項目〕

- (1) 社会福祉の理念と意義  
ア 生活と福祉  
イ 社会福祉の理念  
ウ 人間の尊厳と自立

◎ 内容については、事項のみを大綱的に示しているものの、〔指導項目〕としての指導を通じて、目標に3つの柱に整理した資質・能力を身に付けさせることを明確化した。

23

# 育成すべき資質・能力の明確化②

「内容」については、解説において、大項目ごとにねらいを示し、そのねらいの実現のため身に付けさせる事項を資質・能力ごとに3つの柱で整理

## 高等学校学習指導要領解説 福祉編

### 第1節 社会福祉基礎<改訂後>

#### 2 内容

##### (1) 社会福祉の理念と意義

ここでは、科目の目標を踏まえ、生活や自立の概念、日常生活と福祉の関わり、社会福祉理念の変遷など社会福祉に関する基礎的な学習活動を通して、社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などを理解できるようにするとともに、働くことの意義や役割、職業人に求められる倫理観を育成することをねらいとしている。

このねらいを実現するため、次の①から③までの事項を身に付けることができるよう、〔指導項目〕を指導する。

① 生活や自立の概念、日常生活と福祉、社会福祉理念の変遷などについて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。

⇒【知識・技術】

② 社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。

⇒【思考力・判断力・表現力等】

③ 社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。

⇒【学びに向かう力、人間性等】

◎ 各項目(大項目)については、解説において、そのねらいの実現のため身に付けさせる事項を資質・能力ごとに3つの柱で整理。

24

- 今回の改訂において、教科目標について、各教科共通に以下の点を改善
- ◎ 実践的・体験的な学習活動を通じて資質・能力を育成することを明確化
  - ◎ 職業人に求められる倫理観に関する指導の充実
  - ◎ 社会貢献や協働について新たに明示

## 職業教育に共通する目標の考え方

※中教審答申(平成29年12月)より抜粋

職業に関する各教科の「見方・考え方」を働かせ、**実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して**、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各職業分野について(社会的意義や役割を含め)体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- (2) 各職業分野に関する課題(持続可能な社会の構築、グローバル化・少子高齢化への対応等)を発見し、**職業人に求められる倫理観**を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や**社会貢献**に主体的かつ**協働的に取り組む**態度を養う。

福祉の見方・考え方を働かせ、**実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して**、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

25

## 主体的・対話的で深い学びの実現について

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善により、質の高い学びを実現。

### 第1章 総則 第3款 1(1)

第1款の3の(1)から(3)までに示すことが偏りなく実現されるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、**生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと**。

特に、各教科・科目等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を発揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科・科目等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方(以下「見方・考え方」という。)が鍛えられていくことに留意し、生徒が各教科・科目等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、**知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したり**することに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。

### 第3章 主として専門学科において開設される各教科 第3款 1(1) 【「福祉」の例】

単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、**生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る**ようにすること。その際、**福祉の見方・考え方を働かせ**、生活に関する事象を捉え、専門的な知識や技術などを基に実際の福祉に対する理解を深めるとともに、新たな社会福祉の創造や発展に向けて**実践的・体験的な学習活動の充実**を図ること。

### 「見方・考え方」(解説の記述) 【「福祉」の例】

福祉の見方・考え方とは、生活に関する事象を、当事者の考えや状況、環境の継続性に**着目して捉え**、人間としての尊厳の保持と自立を目指して、適切かつ効果的な社会福祉と**関連付ける**ことを意味している。

26

# 教育内容の改善・充実について

地域や社会の発展を担う職業人を育成するため、社会や産業の変化の状況等を踏まえ、①持続可能な社会の構築、②情報化の一層の進展、③グローバル化などへの対応の視点から各教科の教育内容を改善。

## 職業教科の改善の視点

- ① **持続可能な社会の構築** (例) ・ 安全・安心な農作物や水産物などの持続的・安定的な生産と供給  
・ 地球温暖化防止等の環境保全、資源やエネルギーの有効な活用  
・ **地域共生社会の実現に向けた地域福祉**
- ② **情報化の一層の進展** (例) ・ 職業に関わる情報モラル  
・ IoTや人工知能  
・ インターネットを活用したビジネス  
・ **福祉用具と介護ロボット**
- ③ **グローバル化** (例) ・ 製品基準の標準化  
・ 国際的な人・もの・資本の移動による影響  
・ 生活文化の伝承・創造  
・ **外国における社会福祉(欧米・アジア地域の状況)**

福祉ニーズの高度化と多様化、倫理的課題やマネジメント能力・多職種協働の推進、ICT・介護ロボットの進歩などを踏まえ、福祉を通して、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人を育成

27

## 職業教科の「共通の内容」の整理

「働くことの意義や役割の理解」、「職業人に求められる倫理観の育成」等について、各職業教科に共通して指導すべき事柄として「共通の内容」として整理し、各職業教科の原則履修科目に位置付けた。

産業界において、異業種・異分野に進出する企業が多く見られる状況

共通する資質・能力を、より意識して育成する必要

### 共通の内容

- ・働くことの意義や役割の理解
- ・職業人に求められる倫理観の育成 など

職業8教科全ての原則履修科目  
に共通して位置付ける

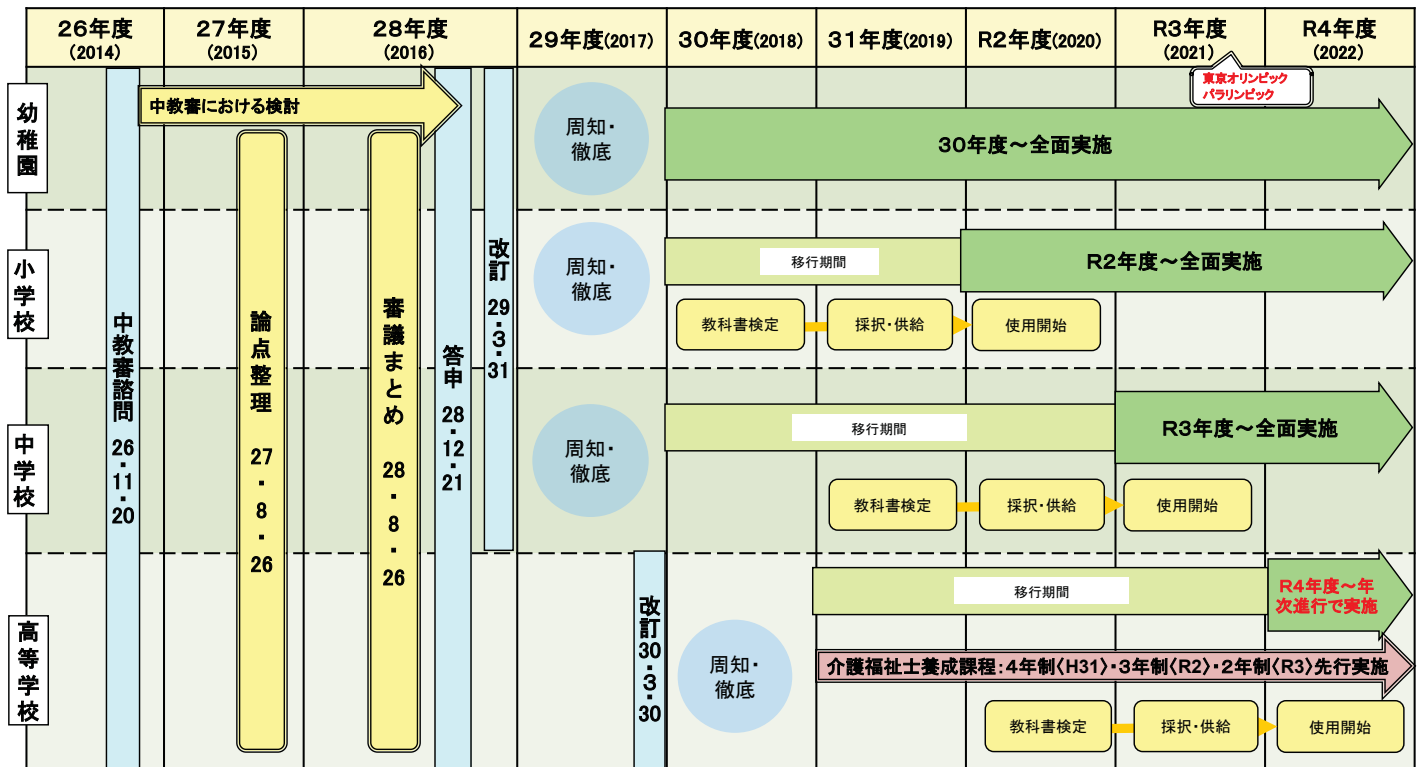
### 第1 社会福祉基礎 【「福祉」の例】

#### 3内容の取扱い (1)ア

[指導項目]の(1)については、社会や産業全体の課題及びその解決のために福祉が果たしている役割、**働くことの社会的意義や役割**、**職業人に求められる倫理観**について扱うこと。

28

# 今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール



特別支援学校学習指導要領(幼稚部及び小学部・中部)についても、平成29年4月28日に改訂告示を公示。  
特別支援学校学習指導要領(高等部)についても、高等学校学習指導要領と一体的に改訂を進める。

## 高等学校学習指導要領の改訂に伴う移行措置の概要

- 新高等学校学習指導要領への円滑な移行のため、移行期間(平成31年4月1日から新高等学校学習指導要領が適用されるまでの間)においては、**教科書等の対応を要しない場合など可能な範囲で、新高等学校学習指導要領による取組を推進**していく。
- 特に、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を**バランスよく育成**することを目指す新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえて指導されるようにする。

### ◆移行措置の内容

#### (1) 総則

新高等学校学習指導要領によることが適さない事項を除き、新高等学校学習指導要領による。

#### (2) 各教科等

##### ①総合的な探究の時間及び特別活動

###### ●総合的な探究の時間

→ 従来の「総合的な学習の時間」を「総合的な探究の時間」に改め、新高等学校学習指導要領による。

###### ●特別活動

→ 新高等学校学習指導要領による。

##### ②指導内容の変更などにより特例を定める教科

###### ●地理歴史、公民

→ 新高等学校学習指導要領の領土に関する規定を適用する。

###### ●家庭

→ 新高等学校学習指導要領の契約の重要性及び消費者保護の仕組みに関する規定の事項を加えて指導する。

##### ③新高等学校学習指導要領によることができるとする教科

###### ●保健体育、芸術、福祉、体育、音楽、美術

→ 新高等学校学習指導要領によることができるとする。  
※福祉には、科目「福祉情報」を加える。

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
平成29年度入学生	現	現	移※1					
平成30年度入学生		現	移※2	移※2				
平成31年度入学生			移	移	移			
令和2年度入学生				移	移	移		
令和3年度入学生					移	移	移	
令和4年度入学生						新	新	新

- 現 … 現行学習指導要領
  - 移 … 移行措置
  - 新 … 新学習指導要領実施
- ※1…総合的な探究の時間及び家庭に関する特例は適用しない  
※2…総合的な探究の時間に関する特例は適用しない  
(平成30年度入学生は民法改正の影響により19歳で成人となることから、家庭に関する特例は適用する)

#### (注) 特例の適用時期及び対象について

移行期間中の教育課程の特例については、基本的に、平成31年度以降、在籍する全ての生徒に適用する。  
ただし、総合的な探究の時間に関する特例については平成31年度以降に高等学校に入学した生徒に適用し、家庭に関する特例については平成30年度以降に高等学校に入学した生徒に適用することとする。

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
平成29年度入学生	現	現	移※1					
平成30年度入学生		現	移※2	移※2				
平成31年度入学生			移	移	移			
令和2年度入学生				移	移	移		
令和3年度入学生					移	移	移	
令和4年度入学生						新	新	新

↓

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
平成29年度入学生	現	現	移※1					
平成30年度入学生		現	移※2	移※2				
平成31年度入学生			移	移	移			
令和2年度入学生				移	移	移		
令和3年度入学生					移	移	移	
令和4年度入学生						新	新	新

※1…総合的な探究の時間及び家庭に関する特例は適用しない  
※2…総合的な探究の時間に関する特例は適用しない  
(平成30年度入学生は民法改正の影響により19歳で成人となることから、家庭に関する特例は適用する)

移 … 新学習指導要領実施(介護福祉士を養成する福祉系高等学校)

# 「福祉科」の改訂のポイント

- 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な学習の追加
- 福祉従事者に求められるマネジメント能力に関する学習の追加
- 福祉従事者に必要な倫理に関する学習の充実
- 福祉実践における多職種協働に関する学習の充実
- 福祉用具や介護ロボット等を含む福祉機器に関する学習の充実

## 1. 改訂の基本的な考え方

- 福祉ニーズの高度化と多様化、倫理的課題やマネジメント能力・多職種協働の推進、ICT・介護ロボットの進歩などを踏まえ、福祉を通して、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人を育成するよう学習内容等を改善・充実。
- 各学校の創意工夫が図られるよう、介護福祉士養成にかかる制度改正等に対応し、学習内容を整理。

## 2. 学習内容の改善・充実

### (1) 福祉ニーズの高度化と多様化への対応

- 介護福祉士養成課程の見直し(平成23年)により追加された喀痰吸引・経管栄養を安全・適切に実施するため、「生活支援技術」の学習内容に**医療的ケアを追加**。
- チームケアを実践することに対応するため、「社会福祉基礎」の社会福祉援助活動において**リーダーシップなど組織についての学習内容を充実**。

### (2) 倫理的課題や多職種協働の推進

- 福祉従事者に必要な**倫理に関する学習内容を充実**。
- 「介護福祉基礎」、「コミュニケーション技術」、「生活支援技術」、「介護過程」、「介護実習」において、**多職種協働に関する学習内容を充実**。

### (3) 福祉・介護の場におけるICTの進展への対応

- 「介護福祉基礎」、「生活支援技術」、「こころとからだの理解」において、「**福祉用具と介護ロボット**」についての学習内容を充実。

## 3. 学習指導の改善・充実

- 日常生活と社会保障制度との関連について考察させるとともに、対人援助の視点から福祉に関する支援が行われる必要性について理解させる指導の充実(「社会福祉基礎」)。
- 福祉に関する課題について、協働して分析、考察、討論を行い、よりよい社会の構築を目指して解決するなどの学習活動を充実。

31

## 教科「福祉」の科目編成(新旧科目対照表)

平成11年3月告示	平成21年3月告示	平成30年3月告示	指導項目	想定単位数	介護福祉士養成	備考
社会福祉基礎	社会福祉基礎	社会福祉基礎	4	2~6単位	4単位	
社会福祉制度						
基礎介護	介護福祉基礎	介護福祉基礎	4	2~6単位	5単位	
社会福祉援助技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	3	2~4単位	2単位	
(新科目)	生活支援技術	生活支援技術	5	4~12単位	10単位	
(新科目)	介護過程	介護過程	4	2~6単位	4単位	
社会福祉演習	介護総合演習	介護総合演習	3	2~3単位	3単位	
社会福祉実習	介護実習	介護実習	2	4~16単位	13単位	
(新科目)	こころとからだの理解	こころとからだの理解	5	2~8単位	8単位	
福祉情報処理	福祉情報活用	福祉情報	4	2~4単位	-	名称変更

### 【学習指導要領 - 教科「福祉」改訂の背景】

- ・平成11年3月…教科「福祉」創設
- ・平成21年3月…社会福祉士及び介護福祉士法改正に伴う養成課程の見直し
- ・平成30年3月…介護福祉士養成課程の見直し
- ・令和4年1月…介護福祉士国家試験《新養成内容》実施予定

福祉 Welfare	社会福祉基礎	Fundamentals of Social Welfare
	介護福祉基礎	Fundamentals of Social Care
	コミュニケーション技術	Skills for Communication
	生活支援技術	Skills for Lifestyle Support
	介護過程	Care Process
	介護総合演習	Case Study of Social Care
	介護実習	Care Practice
	こころとからだの理解	Understanding Mental and Physical
福祉情報	Welfare and Information Technology	

32



## 新学習指導要領に準拠した教科「福祉」の教科書

教科	受理科目	使用年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
		受理年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	社会福祉基礎		○			
	介護福祉基礎		○			
福祉	コミュニケーション技術			○	○	
	生活支援技術			○		
	介護過程				○	
	こころとからだの理解			○		
	福祉活用			○	○	準教科書

### 教科書の発行されない科目:「介護総合演習」「介護実習」

#### ※学校教育法附則第9条

「高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校並びに特別支援学級においては、当分の間、第34条第1項(第49条、第62条、第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。)の規定にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、第34条第1項に規定する教科書以外の教育用図書を使用することができる。」

#### ※学校教育法第34条

「小学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教育用図書を使用しなければならない。」

※介護福祉士養成施設用のテキストが複数社から発行されている。

## 教科「福祉」の教科書需要数

### ○教科「福祉」の教科書（現行高等学校学習指導要領）

科目名	社会福祉基礎	介護福祉基礎	生活支援技術	コミュニケーション技術	こころとからだの理解	介護過程	合計
平成25年度	12,135 (303校)	5,884 (147校)					18,019 (450校)
平成26年度	21,227 (531校)	10,857 (271校)	9,355 (234校)		8,363 (209校)		49,802 (1,245校)
平成27年度	23,771 (594校)	12,621 (316校)	10,602 (265校)	8,632 (216校)	8,934 (223校)	4,515 (113校)	69,075 (1,727校)
平成28年度	22,994 (575校)	12,820 (321校)	10,490 (262校)	8,550 (214校)	9,211 (230校)	4,143 (104校)	68,208 (1,705校)
平成29年度	21,448 (536校)	12,280 (307校)	10,512 (263校)	8,466 (212校)	8,947 (224校)	3,796 (95校)	65,449 (1,636校)
平成30年度	20,947 (524校)	12,142 (304校)	9,932 (248校)	8,612 (215校)	8,895 (222校)	3,488 (87校)	64,016 (1,600校)
平成31年度	19,946 (499校)	10,927 (273校)	9,675 (242校)	8,521 (213校)	8,729 (218校)	3,471 (87校)	61,269 (1,531校)
令和02年度	19,158 (479校)	10,283 (257校)	9,182 (230校)	8,549 (214校)	8,281 (207校)	3,462 (87校)	58,915 (1,473校)
令和03年度	18,422 (461校)	9,852 (246校)	8,854 (221校)	7,978 (199校)	8,310 (208校)	3,145 (79校)	56,561 (1,414校)

# 学習評価について①

## 《考え方のイメージ》

専門教科・科目の観点の趣旨は、目標の文末表現を「～している」としたもの。

【改善等通知 別紙5 p.7 各教科等の評価の観点及びその趣旨<福祉>】

教科「福祉」	教科目標		観点	評価の観点の趣旨
	(1)	福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	知識・技術	福祉の各分野について体系的・系統的に <u>理解している</u> とともに、関連する技術を <u>身に付けている</u> 。
	(2)	福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。	思考・判断・表現	福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を <u>身に付けている</u> 。
	(3)	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を <u>身に付けている</u> 。

科目「社会福祉基礎」	科目目標		観点	評価の観点の趣旨(イメージ案)
	(1)	社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	知識・技術	社会福祉について体系的・系統的に <u>理解している</u> とともに、関連する技術を <u>身に付けている</u> 。
	(2)	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	思考・判断・表現	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を <u>身に付けている</u> 。
	(3)	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を <u>身に付けている</u> 。

今後、国立教育政策研究所の学習評価の参考となる資料(高等学校)において、教科ごとに検討を行う予定

# 学習評価について②

## 《考え方のイメージ》

評価規準は、解説において大項目ごとに示される①から③までの事項を手掛かりにして作成。

科目「社会福祉基礎」	内容の〔指導項目〕		観点	評価規準の作成の手順(イメージ案)	
	(1)	社会福祉の理念と意義			※専門教科では、学習指導要領の2内容の〔指導項目〕の(1)、(2)などの大項目ごとに、 <u>解説において、資質・能力の三つの柱により身に付けるべき事項①～③を整理している。</u>
	(2)	人間関係とコミュニケーション			
	(3)	社会福祉思想の流れと福祉社会への展望			
(4)	生活を支える社会保障制度				
身に付けるべき事項(解説)		観点	評価規準の作成の手順(イメージ案)		
①	生活や自立の概念、日常生活と福祉、社会福祉理念の変遷などについて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。	知識・技術	生活や自立の概念、日常生活と福祉、社会福祉理念の変遷などについて <u>理解している</u> とともに、関連する技術を <u>身に付けている</u> 。		
②	社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。	思考・判断・表現	社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などに関する課題を <u>発見し</u> 、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決 <u>しようとしている</u> 。		
③	社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などについて自ら学び、主体的かつ協働的に <u>取り組む</u> こと。	主体的に学習に取り組む態度	社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などについて自ら学び、主体的かつ協働的に <u>取り組もうとしている</u> 。		

今後、国立教育政策研究所の学習評価の参考となる資料(高等学校)において、教科ごとに検討を行う予定

# 学習評価について③

## 「[指導項目]ごとの評価規準」を作成する際の【観点ごとのポイント】

### ○「知識・技術」のポイント

- ・「知識」については、学習指導要領の「1 目標」に示す資質・能力を身に付けることができるよう「2 内容」の各指導項目に対し、「(1)」に示された「...理解する」の記述を当てはめ、それを生徒が「...理解している」かどうかの学習状況として表すこととする。
- ・「技術」については、学習指導要領の「1 目標」に示す資質・能力を身に付けることができるよう「2 内容」の各指導項目に対し、「(1)」に示された「...身に付ける」の記述を当てはめ、それを生徒が「...身に付けている」かどうかの学習状況として表すこととする。

### ○「思考・判断・表現」のポイント

- ・「思考・判断・表現」については、学習指導要領の「1 目標」に示す資質・能力を身に付けることができるよう「2 内容」の各指導項目に対し、「(2)」に示された「...発見し、解決する」の記述を当てはめ、それを生徒が「...発見し、解決している」かどうかの学習状況として表すこととする。

### ○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ・「主体的に学習に取り組む態度」については、学習指導要領の「1 目標」に示す資質・能力を身に付けることができるよう「2 内容」の各指導項目に対し、「(3)」に示された「...自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む」の記述を当てはめ、それを生徒が「...自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる」かどうかの学習状況として表すこととする。

※①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と、②観点別学習状況の評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分があることに留意する必要があるとされている。すなわち、②については観点別学習状況の評価の対象外とする必要がある。

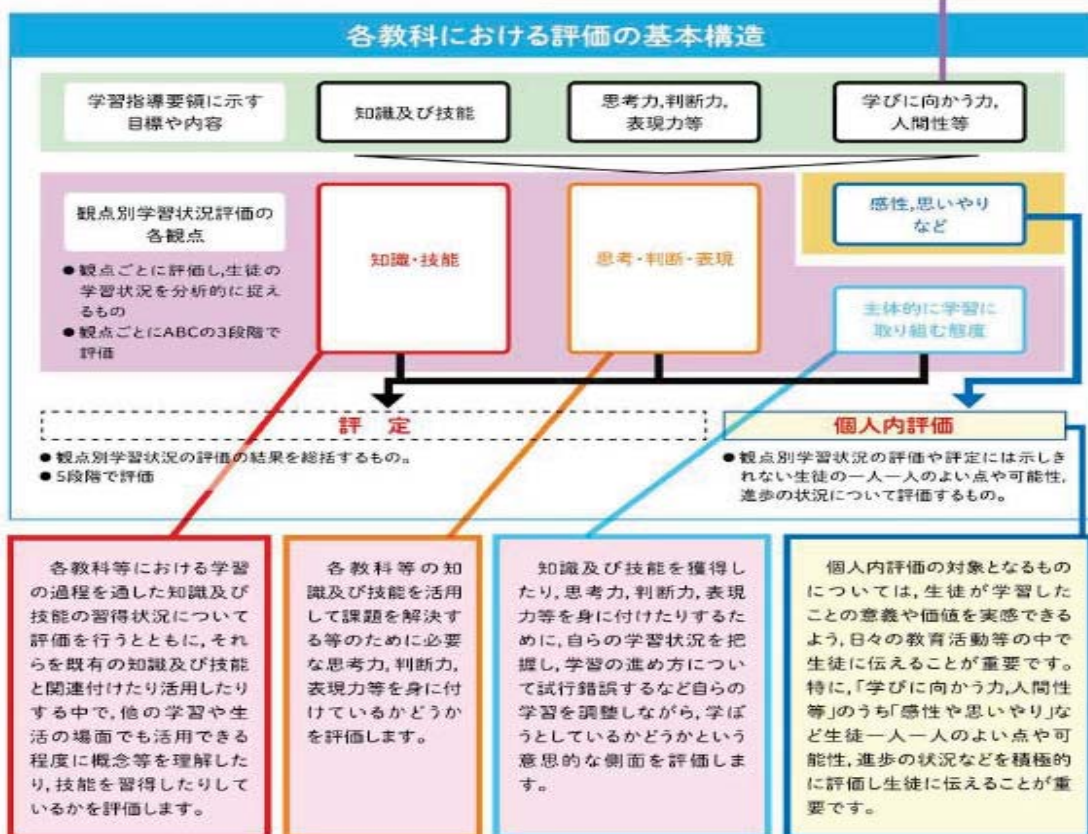
今後、国立教育政策研究所の学習評価の参考となる資料(高等学校)において、教科ごとに検討を行う予定

# 学習評価について④

平成30年改訂で、学習指導要領の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科における観点別学習状況の評価の観点については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されています。

「学びに向かう力、人間性等」には

- ①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価(学習状況を分析的に捉える)を通じて見取ることができる部分と、
- ②観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分があります。

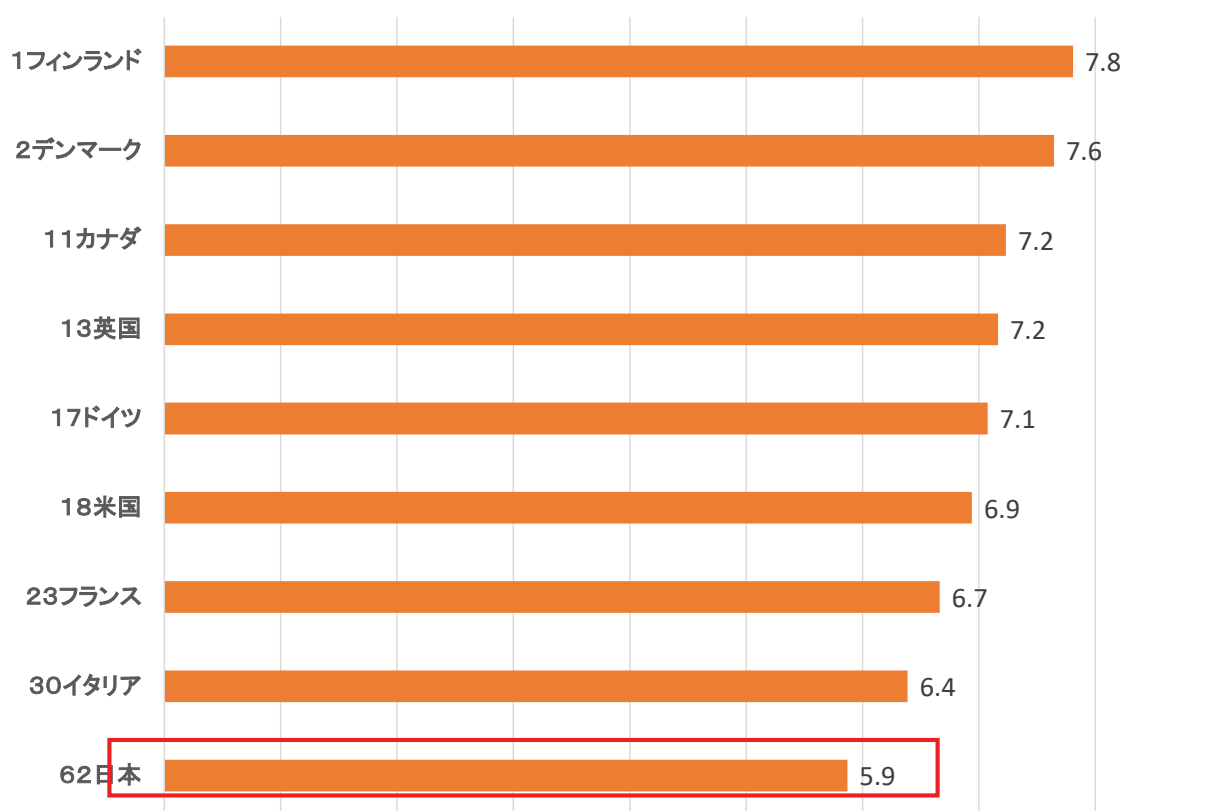


# 新時代に対応した高等学校教育の在り方

中央教育審議会の議論と高等学校を対象とした事業

## 幸福度の国際比較（国連SDSN（持続可能な開発ソリューションネットワーク）より）

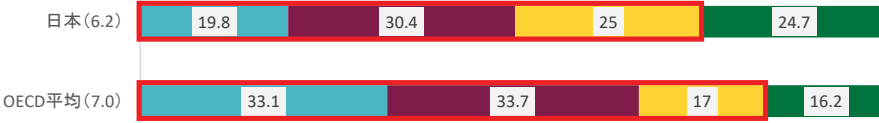
（10点満点での幸福度評価）



## OECDのPISA調査(2018年)における「生徒の生活満足度」についての項目

○我が国の生徒で最近の生活全般に「まあ満足」以上と回答した生徒は約75%だが、OECD平均(約84%)より低い。

【全体として、あなたはあなたの最近の生活全般にどのくらい満足していますか】



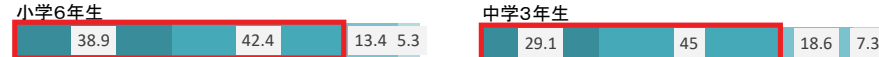
※生徒が解答した生活満足度の結果(0~10の整数値)を、左から「十分に満足(9~10)」、「満足(7~8)」、「まあ満足(5~6)」、「満足していない(0~4)」の4つの段階に分け、それぞれの段階の割合を示したものを、カッコ内の数値は、それぞれの平均値。

出典: 国立教育政策研究所編「生きるための知識と技能—OECD生徒の学習到達度調査(PISA) 2018年調査国際結果報告書—」

## 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査におけるWell-beingに関連する項目

○各項目とも、肯定的な回答が小学6年生で8割程度、中学3年生で7~8割程度となっている。

【自分には、よいところがあると思いますか】



【難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか】



【学校に行くのは楽しいと思いますか】



※グラフの数値は、それぞれ左から「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒の割合

出典: 文部科学省・国立教育政策研究所「平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 質問紙調査 報告書」

## ユニセフ調査による子供の幸福度の国際順位

○PISA等の各種既存の調査を組み合わせで作成された、我が国の子供の幸福度の国際順位は38カ国中20位であった

### 子供の幸福度: 20位/38カ国

#### 精神的幸福度: 37位/38カ国

15歳時点での生活満足度が高い子供の割合: 32位/33カ国

15歳~19歳の自殺率: 30位/41カ国

#### 身体的健康: 1位/38カ国

5~14歳の子供の死亡率: 9位/41カ国

過体重又は肥満である5~19歳の子供と若者の割合: 1位/41カ国

#### 学力・社会的スキル: 27位/38カ国

PISAの読解力・数学分野で基礎的習熟度に達している生徒の割合: 5位/39カ国

「すぐに友達ができると答えた15歳の生徒の割合: 39位/40カ国

出典: ユニセフイノチェンティ研究所「レポートカード16 一子どもたちに影響する世界: 先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か」

# 「高校生の生活と意識に関する調査」における国際比較

日本の子供たちの自己肯定感(「人並みの能力がある」、「ダメな人間だと思うことがある」)は諸外国に比べ低い状況であるが、前回調査に比べると肯定的な回答が増加し、否定的な回答が減少している。

図1 ●私は人並みの能力がある

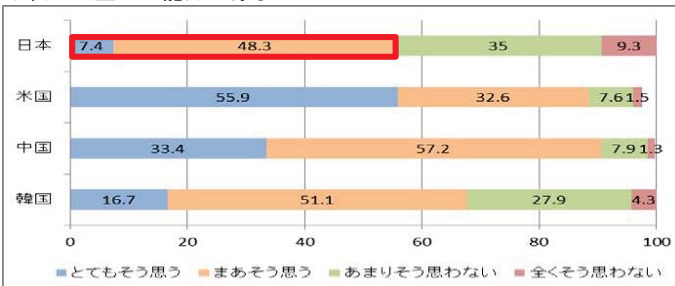


図2 ●自分はダメな人間だと思うことがある

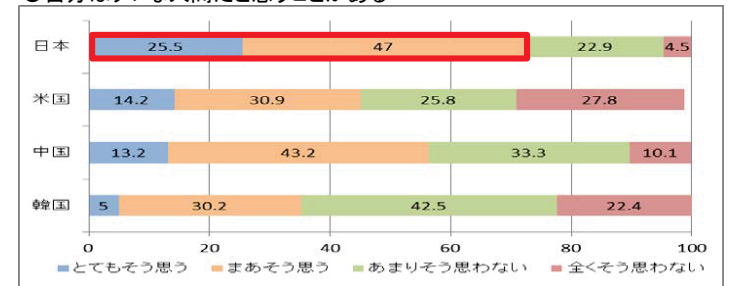


図3 ●私は人並みの能力がある

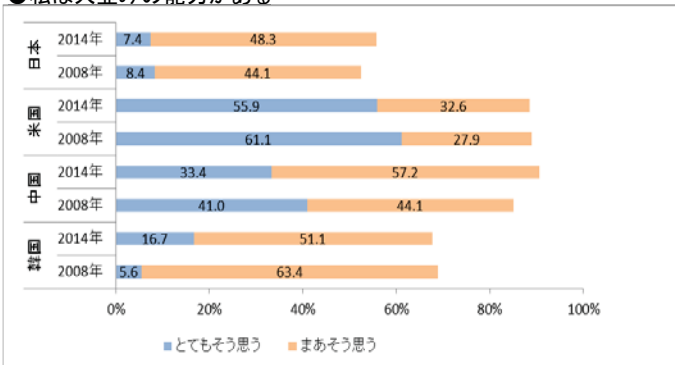
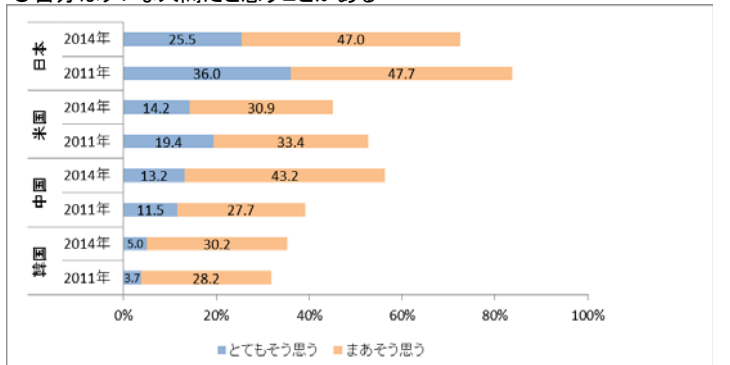


図4 ●自分はダメな人間だと思うことがある



※ 平成26年度 高校生の生活と意識に関する調査(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の結果から作成。各図の数値の単位は%。

	自分を大人だと思う	自分は責任がある社会の一員だと思う	将来の夢を持っている	自分で国や社会を変えられると思う	自分の国に解決したい社会議題がある	社会議題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している
日本	29.1%	44.8%	60.1%	18.3%	46.4%	27.2%
インド	84.1%	92.0%	95.8%	83.4%	89.1%	83.8%
インドネシア	79.4%	88.0%	97.0%	68.2%	74.6%	79.1%
韓国	49.1%	74.6%	82.2%	39.6%	71.6%	55.0%
ベトナム	65.3%	84.8%	92.4%	47.6%	75.5%	75.3%
中国	89.9%	96.5%	96.0%	65.6%	73.4%	87.7%
イギリス	82.2%	89.8%	91.1%	50.7%	78.0%	74.5%
アメリカ	78.1%	88.6%	93.7%	65.7%	79.4%	68.4%
ドイツ	82.6%	83.4%	92.4%	45.9%	66.2%	73.1%

中央教育審議会初等中等教育分科会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)のポイント

～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～【令和3年1月26日 中央教育審議会】

1. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」で目指す学びの姿

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。

① 個別最適な学び（「個に応じた指導」（指導の個別化と学習の個性化）を学習者の視点から整理した概念）

- ◆ 「個別最適な学び」が進められるよう、これまで以上に **子供の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援**することや、**子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していく**ことが求められる
- ◆ その際、ICTの活用により、**学習履歴（スタディ・ログ）や生徒指導上のデータ、健康診断情報等を利活用**することや、**教師の負担を軽減**することが重要

② 協働的な学び

- ◆ 「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、**探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる**ことができるよう、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要
- ◆ 集団の中で個が埋没してしまうことのないよう、**一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す**

2. 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性

- これまで日本型学校教育が果たしてきた、①**学習機会と学力の保障**、②**社会の形成者としての全人的な発達・成長の保障**、③**安全安心な居場所・セーフティネットとしての身体的、精神的な健康の保障**を学校教育の本質的な役割として重視し、継承。
- 一斉授業か個別学習か、履修主義か修得主義か、デジタルかアナログか、遠隔・オンラインか対面・オフラインかといった「**二項対立の陥穽に陥らず**、教育の質の向上のために、発達の段階や学習場面等により、**どちらの良さも適切に組み合わせ活かしていく。**」

### 3. 「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方

- ◆「令和の日本型学校教育」を構築し、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現するためには、**ICTは必要不可欠**
- ◆これまでの実践とICTとを最適に組み合わせることで、様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげていくことが必要
- ◆ICTを活用すること自体が目的化しないよう留意するとともに、**PDCAサイクルを意識し、効果検証・分析を適切に行うことが重要**。健康面を含め、ICTが児童生徒に与える影響にも留意することが必要
- ◆ICTの全面的な活用により、学校の組織文化、教師に求められる資質・能力も変わっていく中で、**Society5.0時代にふさわしい学校の実現が必要**

#### (1) 学校教育の質の向上に向けたICTの活用

- カリキュラム・マネジメントを充実させ、各教科等で育成を目指す資質・能力等を把握した上で、ICTを「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かすとともに、従来は伸ばせなかった資質・能力の育成や、これまでできなかった学習活動の実施、家庭等学校外での学びの充実
- 端末の活用を「当たり前」のことで、児童生徒自身がICTを自由な発想で活用するための環境整備、授業デザイン
- ICTの特性を最大限活用した、不登校や病気療養等により特別な支援が必要な児童生徒に対するきめ細かな支援、個々の才能を伸ばすための高度な学びの機会の提供等
- ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備を両輪とした、個別最適な学びと協働的な学びの実現

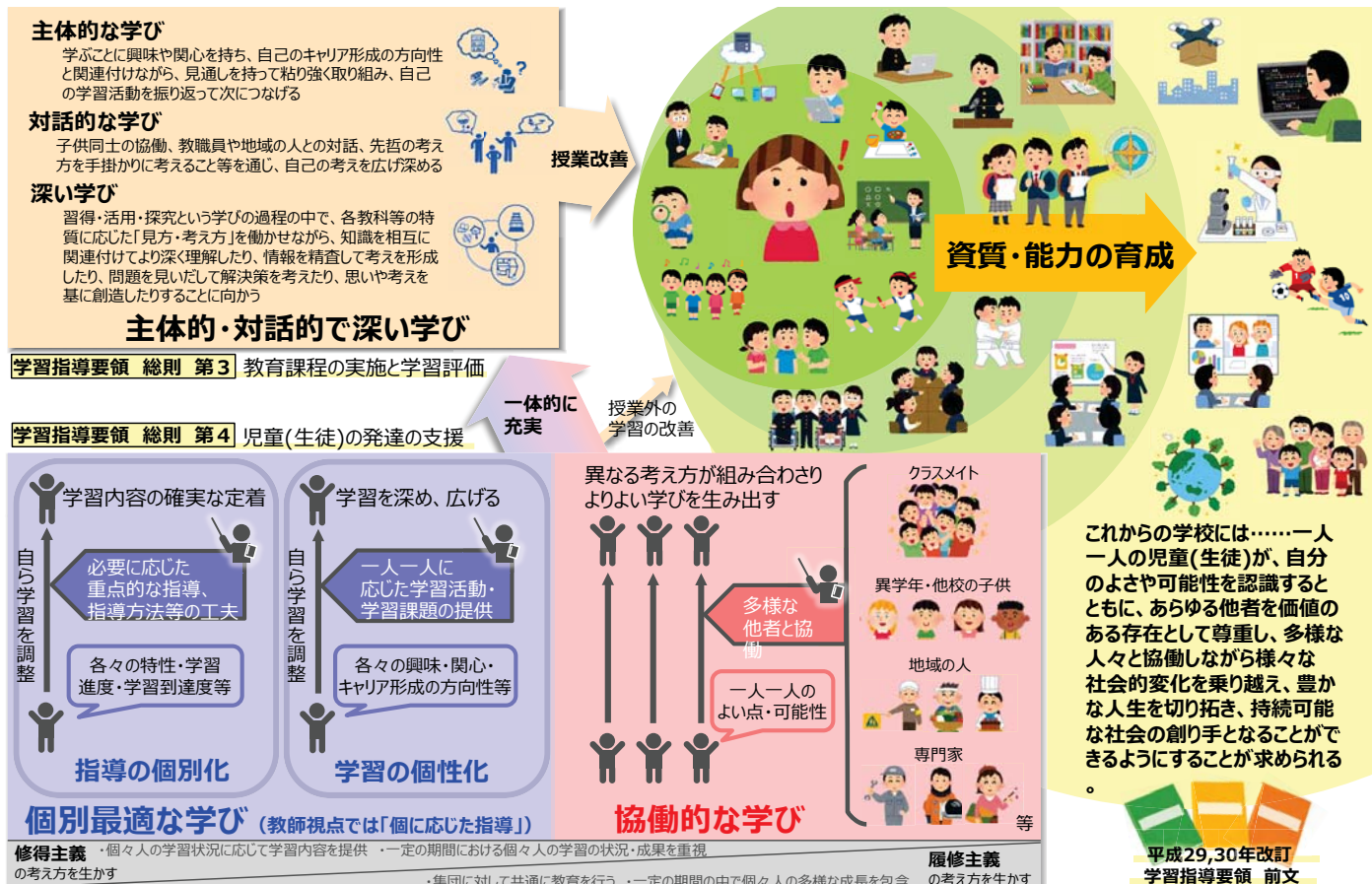
#### (2) ICTの活用に向けた教師の資質・能力の向上

- 養成・研修全体を通じ、教師が必要な資質・能力を身に付けられる環境の実現
- 養成段階において、学生の1人1台端末を前提とした教育を実現しつつ、ICT活用指導力の養成やデータリテラシーの向上に向けた教育の充実
- ICTを効果的に活用した指導ノウハウの迅速な収集・分析、新時代に対応した教員養成モデルの構築等、教員養成大学・学部、教職大学院のリーダーシップによるSociety5.0時代の教員養成の実現
- 国によるコンテンツ提供や都道府県等における研修の充実等による現職教師のICT活用指導力の向上、授業改善に取り組む教師のネットワーク化

#### (3) ICT環境整備の在り方

- GIGAスクール構想により整備される1人1台の端末は、クラウドの活用を前提としたものであるため、高速大容量ネットワークを整備し、教育情報セキュリティポリシー等でクラウドの活用を禁止せず、必要なセキュリティ対策を講じた上で活用を促進
- 義務教育段階のみならず、多様な実態を踏まえ、高等学校段階においても1人1台端末環境を実現するとともに、端末の更新に向けて丁寧に検討
- 各学校段階において端末の家庭への持ち帰りを可能とする
- デジタル教科書・教材等の普及促進や、教育データを蓄積・分析・利活用できる環境整備、ICT人材の確保、ICTによる校務効率化

## 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）



※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」（令和3年1月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会）に基づき、概念を簡略化し図等として整理したものである。

# 新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ審議まとめ(概要)

多様な生徒が社会とつながり、学ぶ意欲が育まれる魅力ある高等学校教育の実現に向けて～(令和2年11月13日)

## 第1章 高等学校教育を取り巻く現状と課題認識

- 高等学校には多様な入学動機や進路希望、学習経験などを持つ生徒が在籍している現状を踏まえた教育活動が極めて重要
- 高校生の学校生活への満足度や学習意欲は中学校段階に比べて低下しており、高校生の学習意欲を喚起するためのものへと転換することが必要
- 大学入学や就職等の出口のみを目標とすることなく、他分野に関する理解や、新たなことを学び、挑戦する意欲を育むための学びが不可欠
- 産業構造や社会システムの激変、少子化の進行等の社会経済の有様を踏まえた高等学校教育の在り方の検討が必要

## 第2章 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を通じて再認識された高等学校の役割・在り方

- 学習機会と学力を保障するという役割のみならず、生徒にとって安全・安心な居場所を提供するという福祉的機能や、社会性・人間性を育むといった社会的機能をも有するという高等学校の多面的な役割・在り方を再認識
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、生徒が長期間登校できない状況下において、ICTも最大限活用した学習保障の必要性が顕在化
- 遠隔・オンラインか対面・オフラインかという二元論に陥らず、最適な組み合わせによって、全ての生徒の可能性を引き出す学びの実現が必要

これらの前提を踏まえ、以下の方策を実施

## 第3章 高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化に向けた方策

### 【1. 各学科に共通して取り組むべき方策】

- (1) 現代的な諸課題に対応し、20年後・30年後の社会像を見据えて必要となる資質・能力の育成
  - 国内外の大学、企業、地元市町村等の関係機関と連携した高度かつ多様な学びの提供
- (2) 地域の実態に応じた多様な高等学校教育の実現
  - 中山間地域・離島等に立地する小規模高等学校が教育課程の共通化・相互互換を図ることで、地理的制約を超えて教育資源を効果的に活用
  - 都道府県は、地元市町村等との丁寧な意見交換を通じて公立高等学校の在り方を検討。その際、総合教育政策会議を活用した首長部局との連携も有効
- (3) 各高等学校の存在意義・社会的役割等の明確化（スクール・ミッションの再定義）
  - 各設置者が、各高等学校の存在意義や社会的役割、目指すべき学校像をスクール・ミッションとして再定義
- (4) 各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針（スクール・ポリシー）の策定
  - 各高等学校は、高等学校教育の入口から出口までの教育活動を一貫した体系的なものに再構築するため、「育成を目指す資質・能力の育成に関する方針」「教育課程の編成及び実施に関する方針」「入学者の受入れに関する方針」（仮称）を策定・公表
- (5) 地域社会や高等教育機関等の関係機関と連携・協働した学びの実現
  - \* 各高等学校の目的を踏まえ、地域社会や高等教育機関等との連携・協働を推進（例：地元市町村等との協働体制であるコンソーシアムの構築）

47

## 第3章 高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化に向けた方策

### 【2. 学科の特質に応じた教育活動の充実強化】

#### (1) 普通科改革

- 各設置者の判断により、「普通教育を主とする学科」として、下記のような特色・魅力ある学科の設置を可能化

#### 【学際的な学びに重点的に取り組む学科】

…SDGsの実現やSociety5.0の到来に伴って生じる諸課題に着目し、国際社会及び日本社会における課題の発見・解決に資する資質・能力を育成  
…国内外の高等教育機関や国際機関、国の機関等との連携・協働により、大学教育の先取り履修や高大連携講座の仕組みの構築などを実施

#### 【地域社会に関する学びに重点的に取り組む学科】

…地元市町村を中心とする地域社会の有する課題・魅力に着目し、地域社会の持続的な発展や価値の創出に資する資質・能力を育成  
…地元の市町村、高等教育機関、企業・経済団体等との連携・協働により、フィールドワークや事例研究、社会人講座などを実施

【その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科】 …上記2学科を参照しつつ育成を目指す資質・能力を設定し、関係機関との連携・協働した教育を実施

#### (2) 専門学科改革

- 産業界を核として地域の産官学が一体となって、将来の地域産業界・高等学校段階での人材育成の在り方を検討し、それに基づく教育課程を開発・実践
- 産業教育施設・設備の計画的な整備、これを支える財政的措置の充実、地元企業の施設の活用等の工夫による最先端の施設・設備に触れる機会を創出

#### (3) 新しい時代に求められる総合学科の在り方

- 多様な科目開設を実現するために、ICTも活用して他校の科目を履修して単位認定する仕組みの活用や、外部人材の活用を推進

## 第4章 定時制・通信制課程等における多様な学習ニーズへの対応と質保証

### 【1. 定時制・通信制課程等における多様な学習ニーズへの対応】

- 制度創設時と異なり勤労青年に限らず多様な生徒が在籍している定時制・通信制課程の現状を踏まえ、多様な生徒のニーズにきめ細かく対応するため、SC・SSW等の専門スタッフの充実、関係機関との連携促進、ICTの効果的な活用、少年院在院者への高等学校教育機会の提供等を推進

### 【2. 高等学校通信教育の質保証方策】

#### (1) 教育課程の編成・実施の適正化

- 各年度における添削指導・面接指導・試験の年間計画等を「通信教育実施計画」(仮称)として策定・明示することを義務付け
- 面接指導は少人数で行うことを基幹とすることや、集中スクーリングにおいて1日に実施する面接指導の時間数を適切に定めること、多様なメディアを利用して行う学習の報告課題等に対する観点別学習状況の評価の実施、試験の実施時間・時期を適切に設定することなどを明確化

#### (3) 多様な生徒にきめ細かく対応するための指導体制の充実

- 養護教諭、SC・SSW等の専門スタッフの充実や関係機関等との連携促進を図るとともに、きめ細かく指導・支援を実現するための教諭等の人数を明確化

#### (4) 主体的な学校運営改善の徹底

- 法令に基づく学校評価の実施・公表の徹底とともに、「自己点検チェックシート」(仮称)に基づく自己点検の実施・公表
- 教員・生徒・教育課程・施設設備等に関する学校の基本情報の開示を義務付け。ICTを基盤とした先端技術の効果的な活用に向けた実証研究を実施

#### (2) サテライト施設の教育水準の確保

- 実施校の責任下におけるサテライト施設の把握・管理、情報開示の徹底、面接指導等実施施設の共通の基準に関して実施校と同等の教育環境を確保

48





## 高等学校を取り巻く現状と課題認識

- ▶ 高等学校には多様な入学動機や進路希望、学習歴、背景を持つ生徒が在籍しており、**多様な実情・ニーズに応じた学びの実現**が必要。
- ▶ **産業社会や社会システムの激変、少子化の進行等の社会経済の有り様**を踏まえた高等学校の在り方の検討が必要。

## 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を通じて再認識された高等学校の役割・在り方

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、生徒が長期間登校できない状況において、**ICTも最大限活用した学習保障の必要性**が顕在化。
- ▶ 対面指導がICT活用かという二元論に陥ることなく、**最適な組合せにより、多様な生徒を誰一人取り残すことのないよう、個別最適化された学びと**、社会とつながる協働的・探究的な学びの実現が必要。

### WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業 (WWL-Plus)

令和3年度要求・要望額 3.7億円 (前年度1.5億円)

複数の高等学校の教育課程の共通化やICT機器の活用により、中山間地域や離島等の高等学校においても、生徒の多様な進路実現に向けた教育・支援を実現し、持続的な地域創生の核としての機能強化を図る。

### COREハイスクール・ネットワーク構想

(地域社会に根ざした高等学校の学校間連携・協働ネットワーク  
: Collaborative REgional High-school Network)  
令和3年度要求・要望額 8億円 (新規)

ポストコロナ時代の世界規模の社会課題の解決やSociety5.0の実現に向けた人材育成として、高等学校と国内外の大学等と協働し、大学教育の先取り履修など高校生へより高度な学びを提供する仕組みを構築。

### 高等学校における教育の質確保・多様性への対応に関する調査研究

令和3年度要求・要望額 0.5億円  
(前年度0.5億円)

多様な学習ニーズに応じた学びを実現するため、生徒の基礎学力の確実な習得と学習意欲の喚起を図り、定時制・通信制課程におけるICTを効果的に利活用した新時代の学びの充実を図ることで、高等学校における教育の質の確保並びに多様性への対応についての充実を図る。

### マイスター・ハイスクール (次世代地域産業人材育成刷新事業)

令和3年度要求・要望額 7.2億円 (新規)

成長産業化に向けた革新を図る産業界と専門高校が一体・同期化し、第4次産業革命・地域の持続的な成長を牽引するための、絶えず革新し続ける最先端の職業人育成システムを構築。

### 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

令和3年度要求・要望額 2.4億円 (前年度2.5億円)

高等学校が自治体、高等教育機関、産業界等との協働によりコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進することで、地域振興の核としての高等学校の機能強化を図る。



上記予算事業とともに制度的措置を講じて「新時代に対応した高等学校改革」を強力に推進

## マイスター・ハイスクール (次世代地域産業人材育成刷新事業)

令和3年度要求・要望額 7.2億円  
(新規)



### 背景・課題

- 第4次産業革命の進展、デジタルトランスフォーメーション(DX)、六次産業化等、**産業構造・仕事の内容は急速かつ絶えず革新**。
- 更に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、DX、IoTの進展の加速度がさらに高まり、こうした**革新の流れは一層急激**に。
- こうした中、地域産業の人材育成の核となる専門高校の社会的要請として、**産業構造・仕事の内容の絶え間ない変化に即応・同期化した職業人育成**が求められる。

→アフターコロナ社会で成長産業化を図る産業界が期待する専門高校の職業人育成システムを抜本的に改革

事業内容：成長産業化に向けた革新を図る産業界と専門高校が一体・同期化し、第4次産業革命・地域の持続的な成長を牽引するための、絶えず革新し続ける最先端の職業人育成システムの構築

### 産業界と一体となった専門高校の職業人材育成の抜本的改革

未来志向の産業界が中核となり、地元自治体等とともに、地域における人材育成と成長産業化のエコシステムの確立

#### 【主な取組】

- 産業界他関係者一体となったカリキュラム刷新・実践 (コース、学科改編等)
- **マイスターハイスクールCEO (仮称)**を企業等から指定した学校の管理職としてマネジメント
- 企業技術者を教員として採用 (マイスターハイスクール版クロスアポイントメント)
- 企業等での授業・実習を多数実施、企業等の施設・設備の共同利用
- 専攻科設置や高専化、大学連携等の一貫教育課程導入等の抜本的な改革



事業の成果等を通じて、第4次産業革命を牽引する地域産業人材育成エコシステムのモデルを示すことにより、各地域が取組む際の各種コスト低減を図ることが可能となり、全国各地で地域特性を踏まえた取組を加速化させ、次世代地域産業人材育成の全国的な社会最適を目指す

対象校種	国公立の高等学校	委託先	学校設置者、地方公共団体、民間企業、経済団体、協同組合等
箇所数 単価 期間	40箇所 1800万円/箇所 3年	委託対象経費	カリキュラム開発等に必要経費 (人件費、設備備品費、実習費等)

令和3年度:採択する機関一覧(12機関) ※1箇所 1,200万円3年間の指定を予定

管理機関			事業名	学校名	実施学科
学校設置者	産業界	地方自治体			
北海道教育委員会	JALずない	新ひだか町	地域発次世代イノベーター人材の育成 ～持続可能な日高農業の創り手～	北海道静内農業高等学校	農業
福島県教育委員会	南相馬ロボット産業協議会	福島県(予定)	ふくしまの未来を創るテクノロジスト育成事業	福島県立小高産業技術高等学校	工業、商業
新潟県教育委員会	株式会社 能水商店	糸魚川市	未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築 ～糸魚川・能生から海洋リーダーを育てるLINKプロジェクト～	新潟県立海洋高等学校	水産
福井県教育委員会	ふくい水産振興センター	小浜市	若狭地域のWell-beingを実現するために地域水産業の成長産業化に貢献できる人材育成のための水産海洋教育カリキュラム開発	福井県立若狭高等学校	水産
福井県教育委員会	株式会社福井銀行	坂井市・あわら市	学科横断型DX研究による次世代産業人材育成体制の構築	福井県立坂井高等学校	農業、工業 商業、家庭
山梨県教育委員会	甲斐市商工会	甲斐市	山梨ワイン発展のための協働と若手技術者の育成 ～ワイン醸造学習を中心としたワイン県やまなしの地域資源活用、地域活性化、新たな価値を創造する職業人材の育成を目指して～	山梨県立農林高等学校	農業
滋賀県教育委員会	彦根商工会議所	彦根市	変化への挑戦(Challenge for Change) ～進取の気性を生かし持続可能な新たな地域産業を共創できる技術人財の育成～	滋賀県立彦根工業高等学校	工業
岡山県教育委員会	銘建工業株式会社	真庭市	自然・社会・人との対話で育む真庭型産業人材育成構想 -「環境(SDGs)」×「アグリビジネス」⇒豊かな生き方・働き方-	岡山県立真庭高等学校	農業、商業
広島県教育委員会	庄原商工会議所	庄原市	地域の未来社会実装型農業をデザインするアグリビジネスプレイヤーの創出 ～Think Globally, Act from Shobara～	広島県立庄原実業高等学校	農業
大分県教育委員会	おおいたAIテクノロジーセンター 株式会社ピースカンパニー 全国農業組合連合会大分県本部	大分県	農村漁村を牽引する担い手確保・育成事業 ～農業系高校と産業界との一体・同期化による次世代担い手育成プロジェクト～	大分県立大分東高等学校・ 久住高原農業高等学校	農業
宮崎県教育委員会	一般社団法人宮崎県工業会	延岡市	ひむか未来マイスター・ハイスクール事業	宮崎県立延岡工業高等学校	工業
熊本県教育委員会	一般社団法人熊本県情報サービス産業協会	熊本県	優れた人材や技術の「X(クロス)【融合】」を追及し、DX時代の夢をつなぐ創造的エンジニアの育成 ～くまもとからはじまる産業人材育成エコシステム～	熊本県立八代工業高等学校	工業

## 高等学校における職業教育

(基礎データ&職業教育の支援事業)

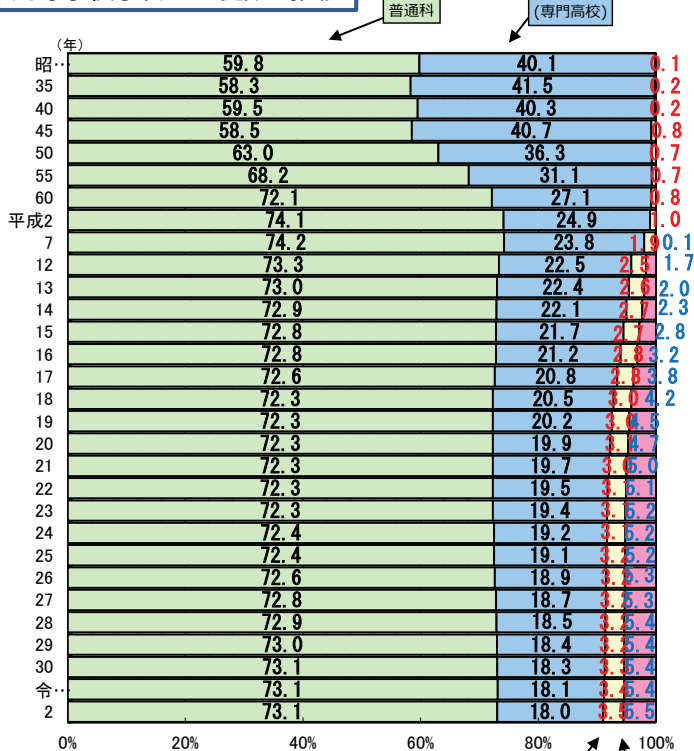
## 専門高校の基礎データ①（学校数・生徒数）

高等学校学科別生徒数・学校数

区分	生徒数(人)	比率(%)	当該学科を置く学校数(延べ数)	単独学科学校数	
合計	3,082,862		6,657	3,509	
普通科	2,254,161	73.1	3,733	2,602	
職業学科(専門高校)	小計	553,444	18.0	1,972	579
	農業	75,260	2.4	303	123
	工業	230,934	7.5	526	259
	商業	178,159	5.8	609	164
	水産	8,161	0.3	41	21
	家庭	36,651	1.2	273	5
	看護	13,570	0.4	97	6
	情報	2,679	0.1	26	—
	福祉	8,030	0.3	97	1
	その他専門学科	107,066	3.5	571	49
総合学科	168,191	5.5	381	279	

※ 令和2年5月時点。  
 ※ 全日制・定時制のみの統計である（通信制は含まれない）。  
 ※ 「当該学科を置く学校数」欄は、複数学科を置く学校について、それぞれの学科に計上した延べ数である。

高等学校学科別生徒数の推移



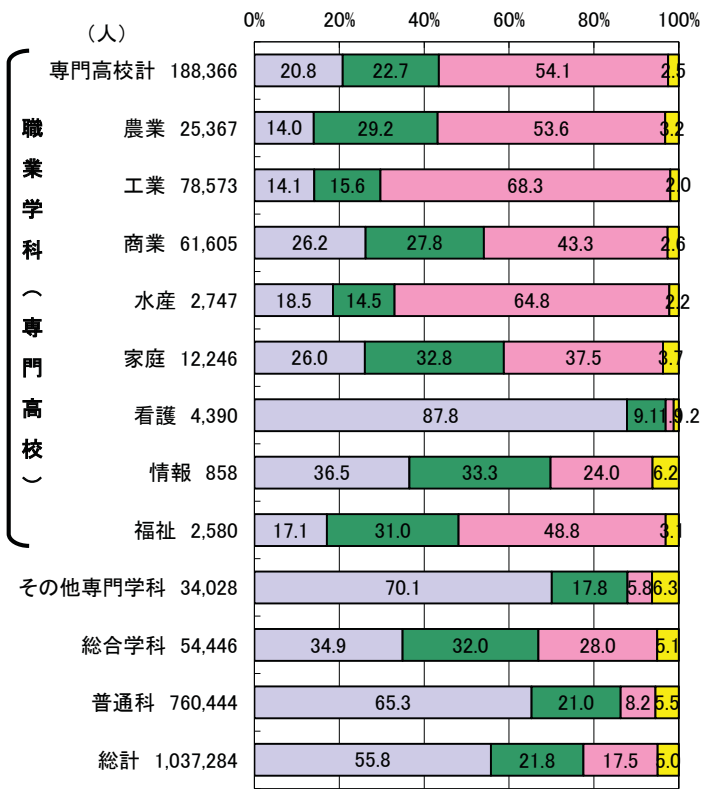
※ 「総合学科」は平成6年度より制度化。「その他の専門学科」には、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係等の学科がある。

(出典) 文部科学省「令和2年度学校基本統計(学校基本調査報告書)」

## 専門高校の基礎データ②（進路状況）

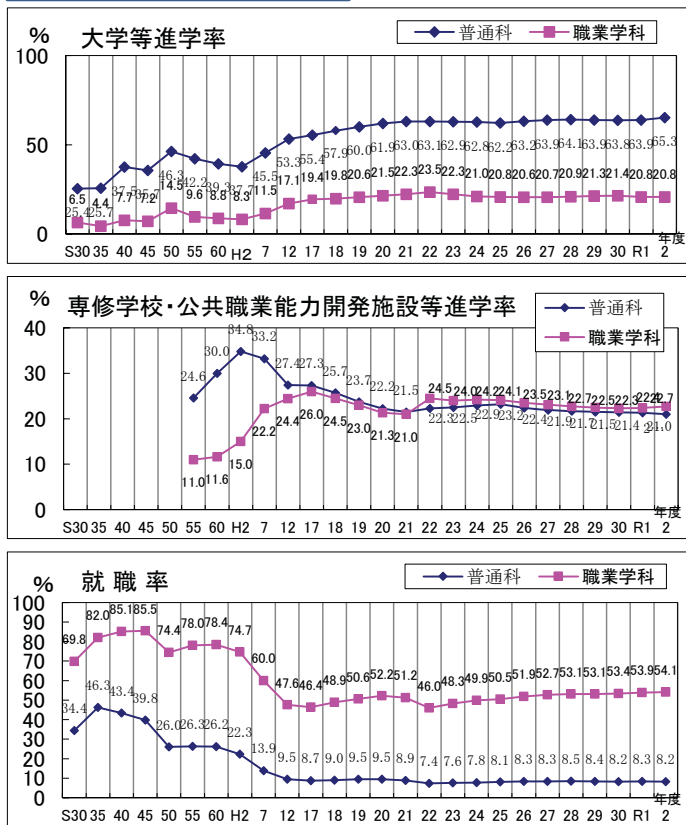
高等学校卒業生(学科別)進路状況

※ 令和2年3月卒



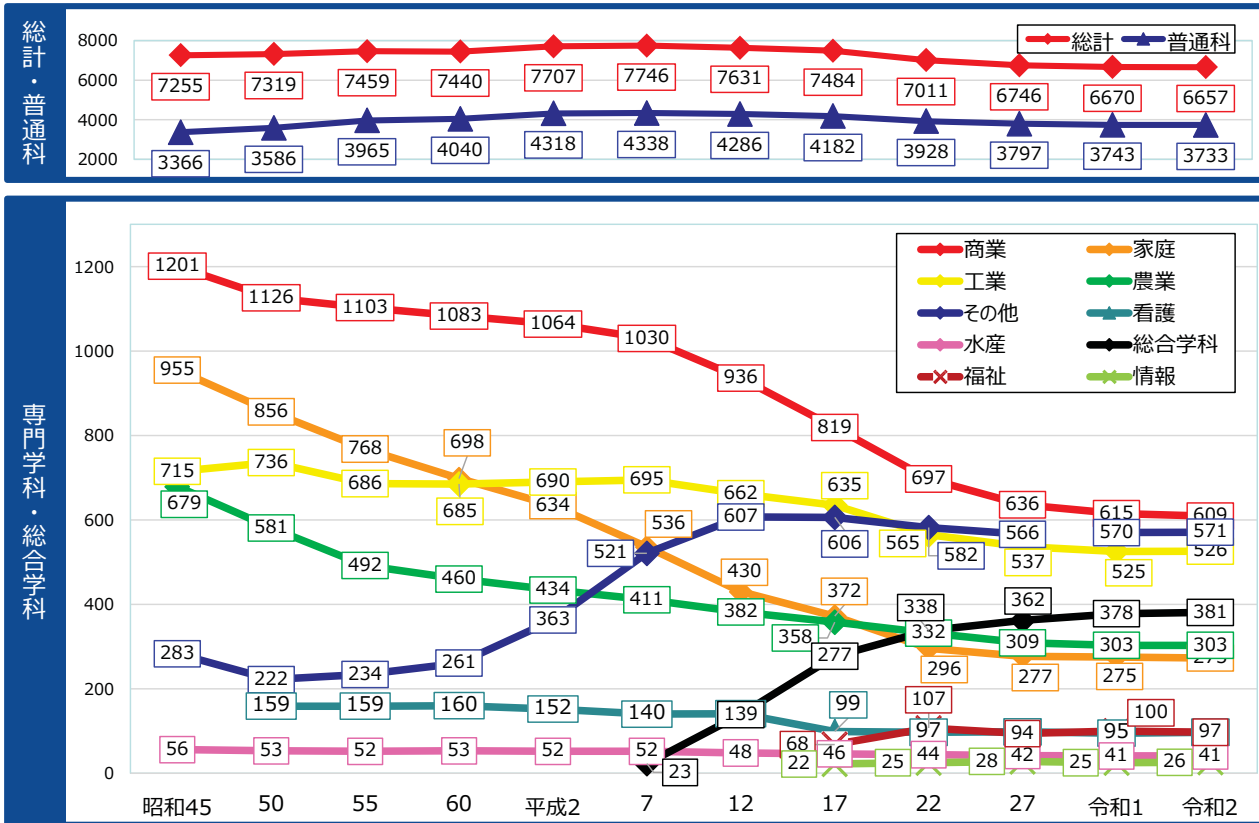
※ 就職者には就職進学者は含まれない。

大学進学率・就職率の推移



(出典) 文部科学省「令和2年度学校基本統計(学校基本調査報告書)」

# 高等学校の学校数（学科別・推移）



※全日制・定時制課程を置く学校数の計。  
 ※一つの学校が2つ以上の学科を持つ場合は、それぞれの学科について、重複して計上。  
 ※「その他」の学科は、専門教育を主とする学科のうち農業、家庭、福祉、看護、水産、情報に関する学科以外の学科（理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係など）の合計。

（出典）文部科学省「学校基本統計」

## 学校基本調査における【専門学科】に位置付けられた「福祉に関する学科」（令和2年度速報版）

番号	都道府県	設置	学校名	受験資格
1		公	北海道釧路高等学校	
2	北海道	公	函館大妻高等学校	
3		私	江陵高等学校	
4	青森県	私	東奥学園高等学校	
5	岩手県	私	岩手女子高等学校	
6	宮城県	私	仙台大学附属明成高等学校	
7		公	宮城県登米総合産業高等学校	
8	秋田県	公	秋田県立六郷高等学校	
9		公	秋田県立湯沢翔北高等学校(専攻科)	
10	茨城県	公	茨城県立古河第二高等学校	
11		私	栃木県立真岡北陵高等学校	
12	栃木県	公	栃木県立佐野松枝高等学校	
13		公	栃木県立矢板高等学校	
14	群馬県	公	群馬県立吾妻中央高等学校	
15	埼玉県	公	埼玉県立誠和福祉高等学校	
16	千葉県	公	千葉県立松戸向陽高等学校	
17	東京都	公	東京都立野津田高等学校	
18		公	神奈川県立二俣川看護福祉高等学校	無し
19	神奈川県	公	神奈川県立横須賀南高等学校	無し
20		公	川崎市立川崎高等学校	
21		公	神奈川県立津久井高等学校	
22	新潟県	公	新潟県立八海高等学校	無し
23	富山県	公	富山県立南砺福野高等学校	
24	石川県	私	難学園高等学校	無し
25	石川県	私	石川県立田鶴浜高等学校	
26	福井県	公	福井県立奥越明成高等学校	
27	長野県	私	松本国際高等学校	
28		私	エクスラン高等学校	
29	岐阜県	公	岐阜県立大垣桜高等学校	
30		公	岐阜県立坂下高等学校	
31		公	岐阜県立岐阜各務野高等学校	
32		公	静岡県立富士宮東高等学校	
33		公	静岡県立磐田北高等学校	
34	静岡県	公	静岡県立清流館高等学校	
35		私	知徳高等学校	
36		私	静岡女子高等学校	
37		私	浜松修学舎高等学校	
38		公	愛知県立古知野高等学校	
39	愛知県	公	愛知県立海翔高等学校	
40		公	愛知県立高浜高等学校	
41		公	愛知県立宝陵高等学校	
42		公	三重県立明野高等学校	
43	三重県	公	三重県立伊賀白鳳高等学校	
44		公	三重県立朝明高等学校	
45	滋賀県	私	綾羽高等学校	
46	京都府	公	京都府立京都八幡高等学校南分校	
47	大阪府	公	大阪府立淀商業高等学校	
48		私	昇陽高等学校	
49	兵庫県	公	兵庫県立日高高等学校	
50	(兵庫県)	公	兵庫県立龍野北高等学校	
51		公	兵庫県立武庫荘総合高等学校	
52	奈良県	公	奈良県立橿原昇陽高等学校	
53	鳥取県	公	鳥取県立境港総合技術高等学校	
54	島根県	私	明誠高等学校	
55	岡山県	公	岡山県立倉敷中央高等学校	
56	広島県	公	広島県立黒瀬高等学校	
57		公	山口県立周防大島高等学校(専攻科)	
58	山口県	私	中村女子高等学校	
59		私	誠英高等学校	
60	徳島県	公	徳島県立小松島西高等学校	
61	香川県	公	香川県立高松南高等学校	
62	愛媛県	私	松山城南高等学校	
63		公	福岡県立久留米筑水高等学校	
64		私	福岡第一高等学校	無し
65		私	慶成高等学校	
66	福岡県	私	大和高藍高等学校	
67		私	杉森高等学校	
68		私	福智高等学校	
69		私	飯塚高等学校	
70	佐賀県	私	北陵高等学校	
71		公	長崎県立口加高等学校	
72	長崎県	私	長崎玉成高等学校	
73		私	向陽高等学校	
74		公	熊本県立戸北高等学校	
75		公	熊本県立阿蘇中央高等学校	
76	熊本県	公	熊本県立上天草高等学校	
77		私	有明高等学校	
78		私	菊池女子高等学校	
79		私	城北高等学校	
80		私	楊志館高等学校	
81	大分県	私	昭和学園高等学校	
82		公	大分県立大分南高等学校	
83		公	大分県立佐伯豊南高等学校	
84		私	日章学園高等学校	
85		私	都城高等学校	
86		公	宮崎県立門川高等学校	
87	宮崎県	公	宮崎県立小川秀峰高等学校	
88		公	宮崎県立日南振徳高等学校	
89		公	新宮崎県立藤原中央高等学校	
90		公	鹿児島県立加世田常潤高等学校	
91		公	鹿児島県立開陽高等学校	
92		公	鹿児島県立薩摩中央高等学校	
93	鹿児島県	私	鹿児島城西高等学校	
94		私	龍桜高等学校	
95		私	鳳凰高等学校	
96		私	出水中央高等学校	
97		私	尚志館高等学校	
98	沖縄県	公	沖縄県立真和志高等学校	
99		公	沖縄県立中部農林高等学校	無し

（福祉に関する学科）  
 ・福祉に関する学科として学校基本調査に回答があった学校  
 99校(専攻科:2校を含む)  
 ※介護福祉士養成校として指定を受けている学校  
 93校(6校は受験資格無し)

（在籍生徒数）  
 ・1年生:2,658人  
 ・2年生:2,737人  
 ・3年生:2,635人  
 合計:8,030人  
 ・専攻科:53人

（入学状況 入学志願者）  
 ・入学志願者:4,033人  
 ・入学者:2,653人  
 ・倍率:1.52倍

※学校教育としての調査であり、介護福祉士養成校として指定を受けているかは問わない。  
 ※介護福祉士養成校として指定を受けている学校には普通科(須磨ノ浦高・美作高・折尾愛真高)・総合学科(剣淵高・迫桜高・鶴岡中央高・高萩清松高・伊勢崎興陽高・西陵高・みえ夢学園高・長浜北星高・有田中央高・川之石高・神埼清明高・嬉野高・大村城南高)・福祉に関する学科以外の専門学科(留寿都高・山辺高・大分東明高)がある。  
 ※学科別の就職データなどは学校基本調査をもとにしているため、福祉系高等学校(介護福祉士養成校)とは異なる。

国名	Share of upper secondary general programme	Share of upper secondary vocational programme	Engineering, manufacturing and construction 工業	Business, administration and law 商業	Services 家庭	Health and welfare 看護・福祉	Information, Communication and Technologies 情報	Other その他
Brazil	89%	11%	16.0	26.9	3.8	10.7	15.7	27.1
Chile	84%	16%	47.1	28.8	4.0	5.9	1.6	12.6
Korea	82%	18%	43.7	27.5	5.3	2.5	4.8	16.3
Japan	78%	22%	42.5	30.3	7.6	5.9	0.4	13.3
Colombia	73%	27%	24.1	46.8	-	-	-	29.2
Lithuania	73%	27%	47.8	15.0	27.3	0.6	3.2	6.2
Iceland	72%	28%	50.4	0.9	21.5	10.3	2.1	14.9
Greece	71%	29%	39.0	8.4	8.6	24.6	12.9	6.5
New Zealand	70%	30%	15.6	13.3	15.3	4.4	0.2	51.4
Sweden	65%	35%	43.9	8.2	19.2	18.7	-	10.0
Ireland	64%	36%	2.3	15.1	10.2	36.4	2.4	33.6
Spain	64%	36%	17.5	13.2	14.5	19.5	6.6	28.7
Denmark	62%	38%	28.9	23.8	14.0	25.1	-	8.2
Hungary	62%	38%	50.7	10.7	29.8	4.2	0.1	4.6
France	61%	39%	34.1	21.2	19.1	19.1	-	6.4
Latvia	61%	39%	36.8	12.2	26.3	-	7.5	17.2
Estonia	60%	40%	49.7	2.0	28.4	-	12.1	7.8
Portugal	60%	40%	16.7	14.1	25.2	15.4	12.2	16.5
OECD average	58%	42%	32.8	18.4	16.8	12.6	4.0	15.4
United Kingdom	56%	44%	8.5	11.5	14.8	15.6	3.7	46.0
Germany	54%	46%	34.4	33.0	12.3	11.2	2.9	6.3
Turkey	54%	46%	29.6	14.7	9.1	26.1	12.7	7.9
EU23 average	53%	47%	31.5	16.8	19.4	12.9	4.6	14.7
Australia	51%	49%	29.8	19.5	16.5	21.0	0.5	12.8
Norway	51%	49%	41.0	7.0	18.1	27.0	2.0	4.9
Russian Federation	49%	51%	38.5	16.6	19.5	6.2	6.5	12.6
Poland	48%	52%	38.8	12.7	25.0	0.1	10.9	12.4
Italy	46%	54%	26.8	22.9	26.4	8.1	6.8	9.0
Belgium	43%	57%	36.1	21.3	22.7	7.5	1.4	11.1
Luxembourg	38%	62%	22.8	30.1	5.3	14.4	2.7	24.7
Switzerland	36%	64%	32.1	32.8	9.0	16.0	2.7	7.3
Austria	32%	68%	34.9	28.0	18.8	3.0	2.4	12.9
Netherlands	32%	68%	17.8	19.4	21.6	24.2	4.0	13.0
Slovak Republic	32%	68%	38.2	15.0	23.6	8.7	1.0	13.5
Czech Republic	29%	71%	39.5	16.4	18.4	6.3	4.6	14.8
Chile	16%	84%	47.14	28.83	3.99	5.87	1.58	12.6
Brazil	11%	89%	15.95	26.91	3.75	10.66	15.66	27.1

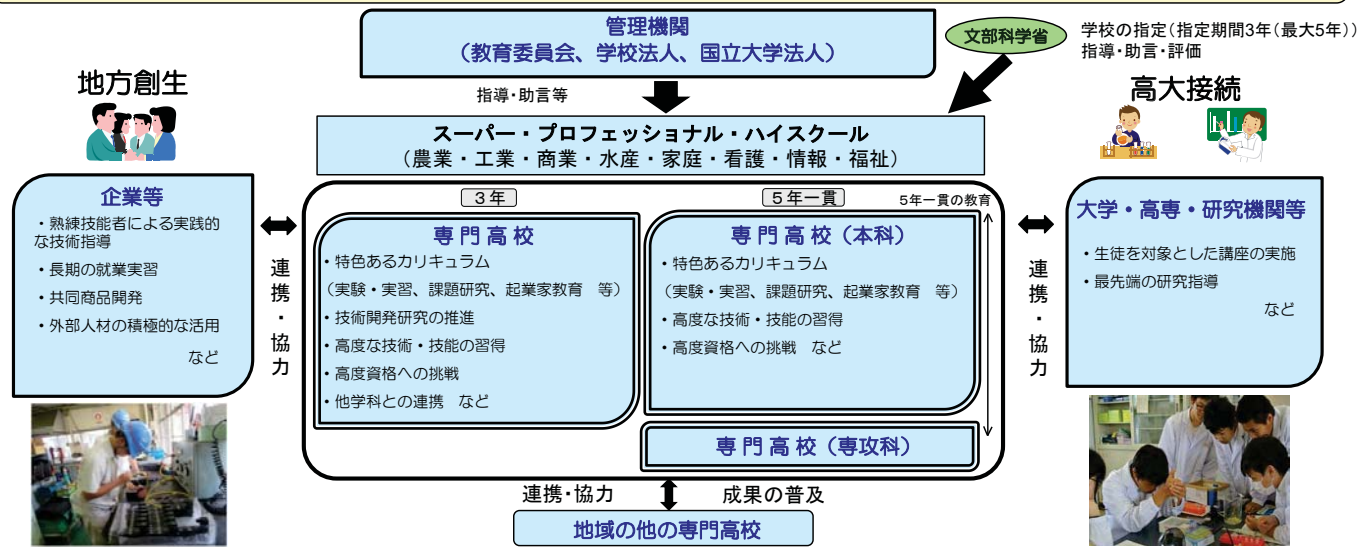
## スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）

(1)「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」の指定

平成30年度予算額

149百万円

社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組を行う専門高校（専攻科を含む）を指定し、実践研究を行う。



・我が国の産業の発展のため、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成  
・成果モデルを全国に普及し、専門高校全体の活性化を推進

(2) 専門高校の魅力発信に関する調査研究

将来の農業経営者等となり得る農業高校生に対し、GAP（農業生産工程管理）に関する学習を推進することは、農業生産技術の習得のみならず、経営感覚や国際感覚を兼ね備えた人材の育成に資する。

GAPの実践やGAP認証の取得の先進事例に関する調査等を行い、その成果を広く全国に提供することで、農業高校におけるGAP認証の取得等を促進し、専門高校の魅力を上向きさせる。  
(調査研究委託先は民間シンクタンク・大学、専門高校に関する団体等を予定)

# 〈兵庫県立龍野北高等学校〉

ソリューションフォーカスの視点に立つ

スーパー・プロフェッショナル・ケアワーカーの育成



# 〈大阪市立淀商業高等学校〉

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール (SPH) 構想図

超高齢社会を迎えて新たな価値を創造できるバリュークリエイターの育成  
～2025（H37）年を支える地域福祉におけるリーダー的存在へ～

スペシャリストから  
プロフェッショナルへ

## 大阪市立淀商業高等学校 福祉ボランティア科

### I. 専門性（介護福祉士）の強化

### II. 専門分野との共創・発信

① ICTを活用した介護技術・知識の向上

② 認知症ケアのためのコミュニケーション技術

③ 医療的ケアに関する知識・技術の向上

④ 社会起業家等による特別授業

⑤ 福祉用具を活用した利用者の自立支援

⑥ 国際的な視野による日本の介護について検証

2025年の日本社会を支える人材へ



① 大学・社協との共創

小中学生へ福祉マインドの育成  
連携：関西大学・同志社大学  
大阪市社会福祉協議会  
大阪市西淀川区社会福祉協議会

② 企業・社協・福祉施設との共創

健康寿命の延伸に向けて  
介護予防体操の実施  
連携：株式会社 第一興商  
大阪市社会福祉協議会  
大阪市西淀川区社会福祉協議会

③ 企業・福祉施設との共創

介護ロボットを活用した自立支援について考える  
連携：ビップ&ウィズ株式会社  
株式会社ニチイ学館

●社会的背景  
★世界に類を見ない  
超高齢社会の到来  
2025（H37）年 団塊の世代が75歳以上の  
後期高齢者へ（4人に1人が75歳以上）

迫りくる地域福祉問題解決に向けた  
新たな価値を創造 地域社会へ提案・発信

●研究内容  
I. 介護福祉士としての専門性の強化  
II. 地域社会と繋がりをもち福祉実践教育  
～地域福祉の課題に向けた専門分野との共創～



☆ 持続可能な福祉社会を構築 ☆

「福祉」の  
好循環を創生



高度で総合的な知識・技術と  
経験を持ったリーダー

ジェネラリストの視点をもつ社会福祉リーダー

マネジメント能力と  
改革・改善力を持ったリーダー

住まい 医療  
生活 介護 予防  
支援

先進プロジェクト

先進的な専門性(幅広い知識・高度な技能)  
(1) 災害時の福祉支援力体験学習  
(2) 介護ロボット等の有用性研究  
(3) 認知症ケアメソッドの研究  
(4) 福祉先進国視察  
(5) 外国人支援の「Welfare English」習得学習

発信力プロジェクト

確かな主体性(企画力・運営力・伝える力)  
(1) 南高生地域福祉講座実施  
・ロボット活用・福祉防災・認知症サポーター養成  
(2) 「おおいたの福祉力」提言  
(3) 「福祉教育フェスティバル」実施  
(4) メディア等を活用した南風プログラム発信

連携プロジェクト

豊かな創造性(観察力・発想力・課題解決力)  
(1) 大分大学福祉健康科学部との多職種協働学習  
(2) 介護福祉施設等との地域福祉課題解決学習  
(3) 福祉系高校との地域福祉活性化交流学習

マインド育成プロジェクト

豊かな人間性(多様性を受容できる力・人間関係調整力)  
(1) サーバントリーダーシップ育成セミナー  
(2) 死生観・倫理観育成セミナー  
(3) 認知症キャラバン・メイト養成研修

【評価の指標例】  
・「求められる介護福祉士検」測定  
・福祉理解度測定  
・認知症キャラバン・メイト養成者数  
・認知症サポーター養成者数  
・医療・福祉英語検定合格者数

「福祉」南風プログラム  
～ジェネラル・ケア・ティーチャーによる  
福祉力発信～



【大分南高校の強み】 ○介護福祉士養成者数：77名＝全国1位 ○介護福祉士国家試験合格者率：100% (全国平均73.9%) ※卒業生全員合格  
○「福祉ネットワーク協議会」による連携体制構築 (介護福祉施設・大分大学・大分県福祉保健部・大分県社会福祉協議会・佐伯豊南高校・耶馬溪校・小中学校)  
【課題】 ○福祉マインドと福祉理解の向上

第30回全国産業教育フェア大分大会：さんフェアおおいた2020

専門高校等の生徒による学習成果発表の祭典  
第30回全国産業教育フェア大分大会

30th National Industrial Education Fair 2020 in OITA

さんフェアおおいた 2020

「一生懸命」  
努力は未来を変える  
産業の力は世界を変える

令和2年10月24日(土)  
会場/別府ビーコンプラザ  
【大分県 別府市山の幸町12-1】

インターネット配信  
配信期間/令和2年10月中旬  
～令和3年3月末日

主催 第30回全国産業教育フェア大分大会実行委員会、文部科学省、大分県、大分県教育委員会、別府市、別府市教育委員会、公益財団法人産業教育振興会、全国産業教育振興会連合協議会、大分県産業教育協議会

〒870-8503 大分県大分市南町3丁目10番1号  
TEL/0974-506-5613 FAX/0974-506-1796

第30回全国産業教育フェア大分大会 開催日程

会場	日程	10月24日(土)									
		9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時
別府ビーコンプラザ	エントランス(1F)	展示①(農業・水産・商売・社会・特支) 受付・組合案内 動画コーナー①									
	コンベンションホール(81F)	展示②(農業・水産・商売・社会・特支)	展示③(農業・水産・商売・社会・特支)	展示④(農業・水産・商売・社会・特支)	展示⑤(農業・水産・商売・社会・特支)	展示⑥(農業・水産・商売・社会・特支)	展示⑦(農業・水産・商売・社会・特支)	展示⑧(農業・水産・商売・社会・特支)	展示⑨(農業・水産・商売・社会・特支)	展示⑩(農業・水産・商売・社会・特支)	展示⑪(農業・水産・商売・社会・特支)
別府ビーコンプラザ	中会議室(1F)	SPH事業発表会(全国)									
	中会議室 ホワイエ(1F)	SPH事業展示(全国)									
別府ビーコンプラザ	レセプションホール(2F)	デモンストレーション									
	国際会議室(3F)	展示(県内)									
別府ビーコンプラザ	国際会議室 ホワイエ(3F)	動画コーナー②									

内容	配信時期
会学科のデモンストレーション(県内)	令和2年10月中旬～令和3年3月末日
大分県紹介・参加交流イベント(生徒発表委員会)	
作品・研究発表(全国)	
意見・体験発表(全国)	
SPH事業発表会(全国)	
世界農業遺産発表会(県内)	令和2年11月中旬～令和3年3月末日
大分大会会場発表(全国)	
ネット販売(全国・県内)	令和2年10月中旬～令和2年10月末日

※各催事内容及び会場は、今後変更になる場合があります。  
※当日は無料駐車場を準備しております。  
(駐車台数に限りがありますのでご注意ください。)

別府ビーコンプラザ  
新築ビル  
別府市立別府高等学校  
文化ゾーン第2駐車場  
別府市立別府高等学校  
別府市立別府高等学校  
別府市立別府高等学校

〒870-8503 大分県大分市南町3丁目10番1号  
TEL/0974-506-5613 FAX/0974-506-1796

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)

大分県立大分南高等学校福祉科

## 九州から届け!!「福祉」南風プログラム開発

～ジェネラリストの視点をもつ地域を支える社会福祉リーダーの育成～



【大分南高校SPH研究 目指す姿・身につく力】  
ジェネラリストの視点をもつ地域を支える社会福祉リーダーの育成

地域包括ケアシステムの中核を担う介護福祉人材  
高度で総合的な知識・技術・経験 マネジメント能力と改革・改善力



スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)

大分県立大分南高等学校福祉科

## 九州から届け!!「福祉」南風プログラム開発

～ジェネラリストの視点をもつ地域を支える社会福祉リーダーの育成～

### ジェネラル・ケア・ティーチャーによる福祉力発信

### 先進プロジェクト

先進的な専門性(幅広い知識・高度な技能)



### 連携プロジェクト

豊かな創造性(観察力・発想力・課題解決力)

### マインド育成プロジェクト

豊かな人間性  
(多様性を受容できる力・人間関係調整力)



### 発信力プロジェクト

確かな主体性(企画力・運営力・伝える力)





# さんフェアおおいた2020

30th National Industrial Education Fair 2020 in OITA

《デモンストレーション》  
介護技術発表会  
大分県立大分南高等学校



ノーリフティングケアや介護ロボット(コミュニケーションロボット)の実演

# さんフェアおおいた2020

30th National Industrial Education Fair 2020 in OITA

《開催県作品展示》  
【福祉】  
大分県立大分南高等学校  
大分県立佐伯豊南高等学校



# さんフェアおおいた2020

30th National Industrial Education Fair 2020 in OITA

## 《ブース展示》 【福祉】

熊本県立阿蘇中央高等学校  
熊本県(私立)城北高等学校  
大分県立大分南高等学校  
大分県立佐伯豊南高等学校  
鹿児島県立開陽高等学校



# さんフェアおおいた2020

30th National Industrial Education Fair 2020 in OITA

## 《作品・研究発表》 【福祉】

大分県立大分南高等学校

地域の福祉課題の解決に向けて  
～福祉を学ぶ高校生にできること～



大分南高校 福祉科

### 判田校区の特徴

- ・大分市南部郊外に位置
- ・ベッドタウンとして人気
- ・人口約1万2千人
- ・高齢化率 27%

地域に貢献  
できることは  
ないか？

- ・大分南高校 福祉科は  
8年前に創設された

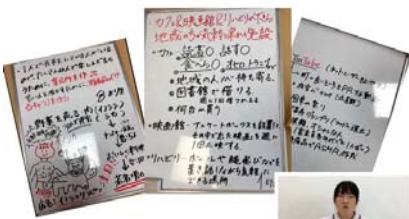


先進地の学習 国東市に学ぶ

- ①ニーズ調査から課題・解決方法を考える  
→地域支え合い活動の実際を知る



さまざまなアイデアが浮かんだ



### 国東市訪問

2019年7月 国東市旭日地区ミニデイサービス視察



### 判田校区ニーズ調査

【時期】  
2019年10月～2020年2月



【対象】  
地域で行われている  
行事や趣味の教室の参加者



### 判田小学校 認知症サポーター養成講座



### カフェ処よこいよ 訪問



### 今後の課題

- ・判田校区の福祉課題を解決するために、  
何が出来るか研究を進める。
- ・地域に貢献できる活動を行う。
- ・地域の福祉活動に関心をもち続け、  
地域の学校としての役割を果たす。

皆が安心して暮らせる  
判田地域となるように  
協力していきたい



# さんフェアおおいた2020

30th National Industrial Education Fair 2020 in OITA

《意見・体験発表》  
【福祉】  
岡山県立倉敷中央高等学校



「折り鶴のお守り」

「折り鶴のお守り」



岡山県立倉敷中央高等学校  
福祉科 安井 陽香



# さんフェアおおいた2020

30th National Industrial Education Fair 2020 in OITA

《学科紹介動画》  
【福祉】  
大分県立大分南高等学校  
大分県立佐伯豊南高等学校  
在校生 & 卒業生

卒業生インタビュー  
宇田 優花さん  
卒業生インタビュー  
佐藤 拓実さん  
卒業生インタビュー  
前田 理恵さん  
卒業生インタビュー  
成清 健市さん  
卒業生インタビュー  
福岡 悠乃さん

人生  
幸せ  
介護実習  
福祉科  
人を幸せにすることを学ぶ学科です

洗髪  
経理介助  
高齢者の生活支援  
高齢者のケア  
高齢者の生活支援  
高齢者のケア

第31回全国産業教育フェア埼玉大会

専門高校等の生徒による  
学習成果発表の祭典

## さんフェア埼玉 2021

彩の国から未来へ  
夢と技術

令和3年

10月30日(土)

会場 ●ウエスタ川越(メイン会場)  
●川越運動公園総合体育館  
●埼玉県立川越総合高等学校  
●彩の国すこやかプラザ



主催 文部科学省、埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連合協議会、埼玉県産業教育振興会  
共催 川越市、川越市教育委員会  
問合せ先 〒300-9801 埼玉県さいたま市市川區高砂3丁目15番1号  
第31回全国産業教育フェア埼玉大会準備委員会事務局(埼玉県立川越総合高等学校) TEL.048-830-6769 FAX.048-830-4869

第31回全国産業教育フェア埼玉大会 開催日程

会場	日程	令和3年10月30日(土) (9時30分~15時30分)
ウエスタ川越	大ホール	総合開会式 表彰式 アトラクション(生徒参加型イベント) 講演、アトラクションショー 総合閉会式
ウエスタ川越	1F	農業・水産部、工業部、商業・情報部、衛生・看護・福祉部による体験コーナー、 企業等と連携した体験、流氷展、埼玉の観光展、企業大学・専門学校等の展示、サテライト会場LIVE中継
	2F	全国高校生プログラミングコンテスト、SPH事業発表会、意見・体験発表、作品・研究発表、 高校生によるサイエンスフェア(同時開催)
交流広場		ミニ農林業、学校生産物販売、ミニ企業・ミニSLS展覧、エコー展示、お弁当販売、グルメコンテスト、 特別奨励高校生によるカフェ
南公民館(講堂室)		ICTを活用した表示による作品展示
川越運動公園総合体育館		全国高等学校ロボット競技大会
埼玉県立川越総合高等学校		全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト、全国高校生クッキングコンテスト
彩の国すこやかプラザ		全国高校生介護技術コンテスト

※催し内容や会場につきましては、都合により変更になる場合があります。

### ※全国高校生介護福祉研究発表会

会場案内

#### ①ウエスタ川越(メイン会場)



徒歩 ・JR川越線・東武東上線川越駅西口より徒歩約5分  
西武池袋線川越駅より徒歩約15分  
バス ・川越駅西口バス乗り場①  
新所2、本55系統川越駅西口下車 徒歩約5分  
本55、本64系統ウエスタ川越地下車すぐ  
・川越駅西口バス乗り場②  
川越5、川越5-1系統「ウエスタ川越」下車すぐ

#### ②川越運動公園総合体育館



バス ・JR川越線・東武東上線川越駅東口乗り場②  
西武池袋線川越駅西口乗り場③  
東武バス川越運動公園行き「川越運動公園」下車  
東武バス上尾駅又は平井行き「トワーム小川戸南」下車 徒歩約10分

#### ③埼玉県立川越総合高等学校



徒歩 ・JR川越線・東武東上線川越駅西口より徒歩約20分  
西武池袋線川越駅西口より徒歩約15分  
東武東上線川越駅西口より徒歩約20分  
バス ・川越駅西口バス乗り場①  
川越5、川越5-1系統「ウエスタ川越」下車すぐ

#### ④彩の国すこやかプラザ



徒歩 ・JR東武東北線毎時東口より徒歩約10分  
JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩約15分

## 全国産業教育フェア:埼玉大会「全国高校生介護福祉研究発表会」

全国高校生介護福祉研究発表会(オンライン配信)

期日:10月30日(土)※時間未定(表彰式)

会場:ウエスタ川越(2階活動室③)

内容:福祉に関する学科を中心とした専門高校等の生徒による福祉研究発表の全国大会

### 1 全国高校生介護福祉研究発表会開催について

新型コロナウイルス感染者が全国的に増えている状況、それに伴う文部科学省及び厚生労働省からの事務連絡「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成施設等の対応について」により、実技に関して三密を避けた状態での、シミュレーターを用いた基本技法の実習となっている。これらを踏まえ、埼玉大会では、「全国高校生介護技術コンテスト」は開催せず、代わりに「全国高校生介護福祉研究発表会」をWeb上に開催する。

### 2 全国高校生介護福祉研究発表会の目的

- 発表への学習を通して人間の尊厳と自立を支え、自立生活の支援の展開について考える機会とする。
- 出場校のメンバー同士がチームとして一丸となり、課題に取り組むことで課題解決する力を育成する。
- 他校の発表を自由に閲覧することで、生徒・教員が互いに学びあい、今後の学習場面、教材研究に活かせるものとする。

### 3 実施方法 ※課題の詳細は、8月下旬までに出場校に連絡する。

- 発表方法 パワーポイントや動画などを活用して発表する。
- 発表内容 サービス利用者の情報シートを読み取り、利用者の生活課題を一つ挙げ、ICFに基づき解決に向けての支援方法を研究し発表する。
- 発表時間 10分以内
- 出場資格 全国の高等学校で福祉を学ぶ生徒 ※1チーム同一校 発表者3名、各地区代表(九州2)・開催県
- 審査方法 ①審査 大会本部が作成した審査基準に則り審査を行う。  
②審査員 高等学校の福祉教育に理解の深い学識経験者等をもって充てる。
- 表彰 最優秀賞1校 優秀賞2校 奨励賞8校
- 閲覧 全国産業教育フェア埼玉大会のHP上に大会期間に合わせて掲載する。

### 4 その他

- 発表映像は、感染予防に配慮し、生徒が発表している場面とする。
- Web上に一定期間公開される為、事前に本人・保護者に許可を得る。
- 出場校が発表映像を事務局へ送付し、事務局がWeb上掲載の準備を行い、発表会当日以降に公開

## 1. 趣旨

専門高校等の生徒の学習成果を総合的に発表する全国産業教育フェアを、都道府県教育委員会との連携・協力を得て、全国的な規模で開催することにより、全国の専門高校等の生徒の学習意欲や産業界、教育界、国民一般への専門高校等の魅力的な教育内容について理解・関心を高めるとともに、新たな産業教育の在り方を探り、新しい時代に即した専門高校等における産業教育の活性化を図り、その振興に資することを目的とする。

## 2. 主催者

文部科学省、開催地都道府県教育委員会、産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連絡協議会及び開催地産業教育振興会、全国産業教育フェア実行委員会

## 3. 参加者

全国の中学校及び高等学校の生徒、教員及びPTA関係者、一般市民、企業関係者等

## 4. 開催内容

開閉会式、作品展示、作品・研究発表、意見・体験発表、競技会、その他

年度	回数	開催都道府県	年度	回数	開催都道府県	年度	回数	開催都道府県	年度	回数	開催都道府県
平成3年度	第1回	千葉県	平成16年度	第14回	広島県	平成29年度	第27回	秋田県	令和12年度	第40回	香川県
平成4年度	第2回	静岡県	平成17年度	第15回	文部科学省主催 【協力】東京都	平成30年度	第28回	山口県	令和13年度	第41回	山梨県
平成5年度	第3回	富山県	平成18年度	第16回	埼玉県	令和元年	第29回	新潟県	令和14年度	第42回	高知県
平成6年度	第4回	京都府	平成19年度	第17回	沖縄県	令和2年度	第30回	大分県	令和15年度	第43回	鳥取県
平成7年度	第5回	和歌山県	平成20年度	第18回	大阪府	令和3年度	第31回	埼玉県	令和16年度	第44回	長崎県
平成8年度	第6回	山形県	平成21年度	第19回	神奈川県	令和4年度	第32回	青森県	令和17年度	第45回	兵庫県
平成9年度	第7回	群馬県	平成22年度	第20回	茨城県	令和5年度	第33回	福井県	令和18年度	第46回	滋賀県
平成10年度	第8回	福岡県	平成23年度	第21回	鹿児島県	令和6年度	第34回	栃木県	令和19年度	第47回	奈良県
平成11年度	第9回	島根県	平成24年度	第22回	岡山県	令和7年度	第35回	福島県	令和20年度	第48回	宮崎県
平成12年度	第10回	徳島県	平成25年度	第23回	愛知県	令和8年度	第36回	佐賀県	令和21年度	第49回	東京都
平成13年度	第11回	岐阜県	平成26年度	第24回	宮城県	令和9年度	第37回	愛媛県			
平成14年度	第12回	岩手県	平成27年度	第25回	三重県	令和10年度	第38回	熊本県			
平成15年度	第13回	北海道	平成28年度	第26回	石川県	令和11年度	第39回	長野県			

## 「スマート専門高校」の実現（デジタル化対応産業教育装置の整備）

令和2年度第3次補正予算額（案）274億円



### 目的

Society5.0時代における地域の産業を支える職業人育成を進めるため、専門高校においてデジタル化対応装置の環境を整備することにより、最先端の職業教育を行う「スマート専門高校」を実現し、デジタルトランスフォーメーション等に対応した地域の産業界を牽引する職業人材を育成する。

### 事業内容

農業や工業等の職業系専門高校における、ウィズコロナ・ポストコロナ社会、技術革新の進展やデジタルトランスフォーメーションを見据えた、高性能ICT端末等を含む最先端のデジタル化に対応した産業教育装置の整備に必要な費用の一部を国が緊急的に補助する。

### 整備する装置の例

#### ■金属造形3Dプリンタ

・コンピュータで入力された数値をもとに、金属等の加工品を作成する産業用装置



#### ■マシニングセンタ

・自動工具交換機能を有した多種類の加工を連続で行えるNC（数値制御）工作装置



#### ■高性能PC端末を配備した実習室の整備

・装置の制御、画像な分析等多様な用途に活用



#### ■冷凍・冷蔵実験装置

・コンピュータ制御により、冷凍速度、温度を調節し、鮮度の違いを実験する装置



等

### 対象校種等

国公立の職業教育を主とする専門学科等を設置している高等学校

### 補助対象事業者

学校設置者

### 補助率

公立、私立：1/3 国立：10/10

### 対象経費

デジタル化対応産業教育装置の整備に必要な経費（装置の購入、設置工事費等含む）

# 福祉系高等学校の取組

## 全国高校生介護技術コンテスト（第1回～第8回）

《高校生介護技術コンテスト》

〇趣旨  
福祉系高校で学ぶ全国の高校生が、課題事例に対する介護技術力とデモンストラシオンを行い、福祉系高校生の介護技術力を高めるとともに、様々な介護の場面において、適切かつ安全に支援できる能力と態度を育成することを目的とする。

最優秀賞・文科科学大医業  
佐賀県立雄勝高等学校  
優秀賞（4校）  
福岡県立久留米中央高等学校  
長崎県立大村高等学校  
鹿児島県立実業高等学校  
優秀賞（5校）  
三重県立伊賀白鳳高等学校  
山形県立高等学校（鳥羽島）  
沖縄県立宜野湾高等学校（大分県）  
沖縄県立豊原高等学校  
鹿嶋高等学校（鹿児島県）

第1回鹿児島大会

《全国高校生介護技術コンテスト》

《最優秀賞・文科科学大医業》 佐賀県立雄勝高等学校（県立雄勝賞・福岡県賞）  
《優秀賞（2校）》 福岡県立久留米中央高等学校（中継博多・山下博多）  
山形県立高等学校（山形県賞）  
大分県立津久野高等学校（山口県・法政院賞）  
《優勝（7校）》  
三重県立伊賀高等学校（主幹博多・吉野博多）  
福岡県立春日高等学校（福岡県賞・福岡県賞）  
長崎県立大村高等学校（長崎県賞）  
鹿児島県立実業高等学校（鹿児島賞・鹿児島賞）  
山形県立高等学校（山形県賞）  
大分県立津久野高等学校（福岡県賞・中継博多）  
鹿嶋高等学校（山形県賞）  
沖縄県立豊原高等学校（山形県賞・中継博多）  
※優勝賞は県道府県単位

第2回愛知大会

《全国高校生介護技術コンテスト》

《最優秀賞・文科科学大医業》 第1回優勝校（鹿児島大会） 佐賀県立雄勝高等学校  
第2回優勝校（愛知大会） 佐賀県立雄勝高等学校  
第3回優勝校（宮城大会） 愛知県立真光高等学校

第3回宮城大会

《全国高校生介護技術コンテスト》

《最優秀賞・文科科学大医業》 第1回優勝校（鹿児島大会） 佐賀県立雄勝高等学校  
第2回優勝校（愛知大会） 佐賀県立雄勝高等学校  
第3回優勝校（宮城大会） 愛知県立真光高等学校  
第4回優勝校（三重大会） 三重県立雄勝高等学校

第4回三重大会

《全国高校生介護技術コンテスト》 自働介助パトル 賞状、喜いサポートなど盛り

「寄り添うとは」考える契機に  
介護の現場を離るる高校生の競技会が盛り上がりを見せている。5回目となる今年度は11月6日に石川県で開かれ、全国各地の代表校12校が参加。生徒たちは「若手身がまひした車いすの高齢女性の介護」という設定課題と向き合い、場面に応じたアドリブも織り交ぜながら自覚した「思い」を披露した。関係者は「介護の利用者に寄り添う気持ちを大切にしながら、技術の底上げにつなげたい」と期待を寄せている。  
（日本経済新聞：H28.11.18）

《最優秀賞・文科科学大医業》 第1回優勝校（鹿児島大会） 佐賀県立雄勝高等学校  
第2回優勝校（愛知大会） 佐賀県立雄勝高等学校  
第3回優勝校（宮城大会） 愛知県立真光高等学校  
第4回優勝校（三重大会） 三重県立雄勝高等学校  
第5回優勝校（愛媛大会） 愛媛県立真光高等学校

第5回石川大会

《全国高校生介護技術コンテスト（秋田大会）》

《最優秀賞・文科科学大医業》 第1回優勝校（鹿児島大会） 佐賀県立雄勝高等学校  
第2回優勝校（愛知大会） 佐賀県立雄勝高等学校  
第3回優勝校（宮城大会） 愛知県立真光高等学校  
第4回優勝校（三重大会） 三重県立雄勝高等学校  
第5回優勝校（愛媛大会） 愛媛県立真光高等学校

第6回秋田大会

《第7回全国高校生介護技術コンテスト（やまぐち大会）》

第7回優勝校（文部科学大臣賞） 山口県立（私立）聖光高等学校  
第7回優勝校（佐賀県立雄勝高等学校） 佐賀県立雄勝高等学校  
第7回優勝校（愛媛県立真光高等学校） 愛媛県立真光高等学校  
第7回優勝校（山形県立高等学校） 山形県立高等学校  
第7回優勝校（大分県立津久野高等学校） 大分県立津久野高等学校  
第7回優勝校（長崎県立実業高等学校） 長崎県立実業高等学校  
第7回優勝校（鹿児島県立豊原高等学校） 鹿児島県立豊原高等学校

第7回山口大会

《第8回全国高校生介護技術コンテスト（新潟大会）》

第8回優勝校（文部科学大臣賞） 新潟県立（私立）聖光高等学校  
第8回優勝校（佐賀県立雄勝高等学校） 佐賀県立雄勝高等学校  
第8回優勝校（愛媛県立真光高等学校） 愛媛県立真光高等学校  
第8回優勝校（山形県立高等学校） 山形県立高等学校  
第8回優勝校（大分県立津久野高等学校） 大分県立津久野高等学校  
第8回優勝校（長崎県立実業高等学校） 長崎県立実業高等学校  
第8回優勝校（鹿児島県立豊原高等学校） 鹿児島県立豊原高等学校

第8回新潟大会

【備考】未開催  
・平成24年度（さんフェア：岡山大会）  
・令和2年度（さんフェア：大分大会）  
・令和3年度（さんフェア：埼玉大会）  
⇒次回は第9回の大会となります。

## 第8回全国高校生介護技術コンテスト（新潟大会）



**最優秀校**  
(文部科学大臣賞)  
佐賀県立神埼清明高等学校  
※初優勝(佐賀県としては4回目)

**優秀賞**  
(産業教育振興中央会会長賞)  
岡山県立倉敷中央高等学校  
※初入賞



**優秀校**  
(全国福祉高等学校長会理事長賞)  
宮城県(私立)明成高等学校  
※初入賞



[奨励賞(第29回全国産業教育フェア新潟大会実行委員会会長賞)]

- ・北海道:北海道剣淵高等学校
- ・関東:群馬県立伊勢崎興陽高等学校
- ・北信越:石川県立田鶴浜高等学校
- ・東海:愛知県立海翔高等学校
- ・近畿:兵庫県立龍野北高等学校
- ・中国:広島県立吉田高等学校
- ・四国:愛媛県立川之石高等学校
- ・九州:沖縄県立真和志高等学校
- ・開催県:新潟県立村上桜ヶ丘高等学校



77

## 第8回全国高校生介護技術コンテスト最優秀賞(文部科学大臣賞)神埼清明高!



新潟県で開かれた「全国高校生介護技術コンテスト」で、九州代表の神埼清明高のチームが最優秀賞に輝いた。メンバーは3年の大隈沙希さんと二宮花音さん、松本未優さんで、3人は「考えられることを全て想定して練習してきた」と日本一に満面の笑みを浮かべた。

同コンテストは今回が8回目。過去には嬉野高が3度も最優秀賞になり、神埼清明高は初めての頂点だった。

課題は2段階で出題された。コンテストの1か月前に被介助者の健康状態や心情、使用可能な物品、会場図が開示された。3人はこの情報から、実技経験がなかった全盲の人への対応を勉強し、歩行介助時の感覚をつかむなどした。被介助者の姿勢も10パターン以上を想定し、通し練習は合計117回に及んだ。

コンテスト当日の10月27日、実技試験直前に「ベッドから歩いて車いすに移り、敬老会会場に移動する」といった具体的な場面設定が発表。介助を拒否される可能性も見抜き、ギリギリまで控室で練習した。

3人中2人で実技をし、「安全性を確保し、被介助者に安心を作り出すケアと自立支援を柱にした」と大隈さん。大隈さんをサポートした二宮さんは「いつも通りのことが発揮でき、笑顔で楽しめた」と振り返った。出場12校中、制限時間の7分内で実技終了を宣言できたのは同校だけで、見事栄冠をつかんだ。

閉会式では、副賞で福祉先進国のテンマーク研修がプレゼントされるサプライズも。松本さんは「テンマークの制度などを事前に勉強して向かい、施設や介護用道具などいろいろなことを学びたい」と話した。 78

# 第8回全国高校生介護技術コンテスト（新潟大会）最優秀校への副賞：北欧研修旅行



## 全国高校生介護技術コンテスト（各地区代表校及び入賞一覧）

回（年度） 地区	第1回（平成23年度） （鹿児島大会）	第2回（平成25年度） （愛知大会）	第3回（平成26年度） （宮城大会）	第4回（平成27年度） （三重大会）	第5回（平成28年度） （石川大会）	第6回（平成29年度） （秋田大会）	第7回（平成30年度） （山口大会）	第8回（令和元年度） （新潟大会）
北海道			北海道：函館大妻高	北海道：函館大妻高	北海道：置戸高	北海道：剣淵高	北海道：置戸高	北海道：剣淵高
東北			岩手県：岩手女子高	宮城県：明成高	秋田県：立六郷高	宮城県：明成高	宮城県：明成高	宮城県：明成高
関東			群馬県：伊勢崎興陽高	群馬県：伊勢崎興陽高	群馬県：吾妻高	群馬県：吾妻中央高	群馬県：伊勢崎興陽高	群馬県：伊勢崎興陽高
北信越			新潟県：立八海高	石川県：立田鶴浜高	富山県：立南砺福野高	石川県：立田鶴浜高	石川県：立田鶴浜高	石川県：立田鶴浜高
東海	三重県：立伊賀白鳳高	岐阜県：立坂下高	愛知県：立高浜高	愛知県：立高浜高	岐阜県：立岐阜各務野高	三重県：立明野高	三重県：立明野高	愛知県：立海翔高
近畿		大阪府：立淀商業高 兵庫県：立日高高	大阪府：立淀商業高	京都府：立京都八幡高	兵庫県：日ノ本学園高	兵庫県：立日高高	奈良県：立榛生昇陽高	兵庫県：立龍野北高
中国	島根県：立出雲西高		岡山県：立倉敷中央高	岡山県：立倉敷中央高	岡山県：立倉敷中央高	広島県：立黒潮高	岡山県：立備前緑陽高	広島県：立吉田高
四国			愛媛県：立北条高	愛媛県：立北条高	愛媛県：立北条高	愛媛県：立北条高	愛媛県：立新居浜南高	愛媛県：立川之石高
九州	福岡県：立久留米筑水高	福岡県：立久留米筑水高	佐賀県：立嬉野高	佐賀県：立嬉野高	沖縄県：立真和志高	佐賀県：立嬉野高	佐賀県：立神埼清明高	佐賀県：立神埼清明高
	佐賀県：立嬉野高	佐賀県：立嬉野高	熊本県：立慶誠高	熊本県：立慶誠高	長崎県：立長崎玉成高	熊本県：立阿蘇中央高	福岡県：立久留米筑水高	沖縄県：立真和志高
	長崎県：立大村城南高	長崎県：立大村城南高						
	大分県：立昭和学園高	大分県：立野津高						
	熊本県：立慶誠高	熊本県：立慶誠高						
沖縄県：立真和志高	鹿児島県：立開陽高							
鹿児島県：立龍桜中央高								
（前年度優勝地区） （開催県）	鹿児島県：立薩摩中央高	愛知県：立杏和高	宮城県：立迫桜高	三重県：立明野高	石川県：立志賀高	秋田県：立六郷高	山口県：立聖光高	新潟県：立村上桜ヶ丘高

※第2回までは事前審査等で参加校を決定し、第3回以降は各地区に出場枠をあて地区代表校が参加することとしている（第5回以降、最優秀賞地区に出場枠を追加している）。  
※平成24年度は開催していません。

〔表彰校〕

最優秀賞 ・文部科学大臣賞	佐賀県：立嬉野高	佐賀県：立嬉野高	愛知県：立高浜高	佐賀県：立嬉野高	沖縄県：立真和志高	沖縄県：立真和志高	山口県：立聖光高	佐賀県：立神埼清明高
優秀賞 ・公益財団法人産業教育振興中央会会長賞 ・全国福祉高校長会理事長賞	福岡県：立久留米筑水高	福岡県：立久留米筑水高	佐賀県：立嬉野高	愛知県：立高浜高	佐賀県：立嬉野高	群馬県：立吾妻高	群馬県：立吾妻中央高	岡山県：立倉敷中央高
	長崎県：立大村城南高	大阪府：立淀商業高	大阪府：立淀商業高	長崎県：立長崎玉成高	北海道：立置戸高	秋田県：立六郷高	熊本県：立阿蘇中央高	宮城県：立明成高
	熊本県：立慶誠高							
	鹿児島県：立薩摩中央高							
優良賞 奨励賞	三重県：立伊賀白鳳高	岐阜県：立坂下高	北海道：立函館大妻高	北海道：立函館大妻高	秋田県：立六郷高	北海道：立剣淵高	北海道：立置戸高	北海道：立剣淵高
	島根県：立出雲西高	兵庫県：立日高高	岩手県：立岩手女子高	宮城県：立明成高	群馬県：立吾妻高	宮城県：立明成高	宮城県：立明成高	群馬県：立伊勢崎興陽高
	大分県：立昭和学園高	長崎県：立大村城南高	宮城県：立迫桜高	石川県：立田鶴浜高	富山県：立南砺福野高	石川県：立田鶴浜高	石川県：立田鶴浜高	石川県：立田鶴浜高
	沖縄県：立真和志高	大分県：立野津高	新潟県：立八海高	群馬県：立伊勢崎興陽高	岐阜県：立岐阜各務野高	三重県：立明野高	三重県：立明野高	愛知県：立海翔高
	鹿児島県：立龍桜中央高	熊本県：立慶誠高	愛知県：立高浜高	京都府：立京都八幡高	兵庫県：立日ノ本学園高	兵庫県：立日高高	奈良県：立榛生昇陽高	兵庫県：立龍野北高
		鹿児島県：立開陽高	岡山県：立倉敷中央高	岡山県：立倉敷中央高	岡山県：立倉敷中央高	岡山県：立黒潮高	岡山県：立備前緑陽高	広島県：立吉田高
		愛知県：立杏和高	愛媛県：立北条高	愛媛県：立北条高	愛媛県：立北条高	愛媛県：立北条高	愛媛県：立新居浜南高	愛媛県：立川之石高
			熊本県：立慶誠高	三重県：立明野高	熊本県：立阿蘇中央高	佐賀県：立嬉野高	佐賀県：立神埼清明高	沖縄県：立真和志高
					石川県：立志賀高	熊本県：立阿蘇中央高	福岡県：立久留米筑水高	新潟県：立村上桜ヶ丘高



	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	受験校数	受験者数	合格者数	合格率	受験校数	受験者数	合格者数	合格率	受験校数	受験者数	合格者数	合格率
1級												
2級					39	649	388	59.78%	47	890	601	67.53%
3級	53	1,703	1,087	63.83%	66	1,629	1,225	75.20%	76	1,610	1,270	78.88%
4級	32	710	319	44.93%	44	821	349	42.51%	51	1,032	830	80.43%
小計	85	2,413	1,406	58.27%	149	3,099	1,962	63.31%	174	3,532	2,701	76.47%

	平成30年度				令和01年度				令和02年度			
	受験校数	受験者数	合格者数	合格率	受験校数	受験者数	合格者数	合格率	受験校数	受験者数	合格者数	合格率
	39	730	309	42.33%	40	605	167	27.60%	38	562	456	81.14%
	55	820	207	25.24%	54	991	298	30.07%	55	826	470	56.90%
	78	1,643	1,164	70.85%	79	1,387	967	69.72%	84	1,761	1,318	74.84%
	49	905	529	58.45%	56	1,131	543	48.01%	56	1,139	721	63.30%
	221	4,098	2,209	53.90%	229	4,114	1,975	48.01%	233	4,288	2,965	69.15%

合計		
受験者数	合格者数	合格率
1,897	932	49.13%
4,176	1,964	47.03%
9,733	7,031	72.24%
5,738	3,291	57.35%
21,544	13,218	61.35%

- ◇1級(検定料:800円、問題数:5択125問、時間:220分)  
介護福祉士国家試験受験校等が3年間の学びの確認ができる検定。  
※介護福祉士国家試験と同レベルの内容であり、医療的ケアも含まれる。
- ◇2級(検定料:500円、問題数:3択150問、時間:80分)  
介護職員実務者研修以上(福祉に関する科目が20単位から34単位程度)を教育課程においている学校、もしくは介護福祉士国家試験受験校における学びを確認するための検定。
- ◇3級(検定料:500円、問題数:2択150問、時間:50分)  
介護職員初任者研修レベルであり、介護職員初任者研修の修了試験と同程度の知識を理解しているかどうかを確認するための検定。
- ◇4級(検定料:500円、問題数:2択150問、時間:50分)  
福祉の基本的知識を確認し、教科「福祉」の「社会福祉基礎」及び「介護福祉基礎」の内容を理解しているかどうかを確認するための検定。

※「社会福祉・介護福祉検定」が、高校で福祉・介護を学んだこと顕彰し、福祉・介護への扉を開くパスポートとして多くの方々に知ってもらおうとともに、定着していくことを祈念しています。

## 令和2年度 全国各地の高校生介護技術コンテスト等の取組

2020 JULY

### 第8回愛知県高校生介護技術コンテスト

新型コロナウイルス感染拡大により自粛期間が長期化。あなたなら浜本さんをどう元気づけますか？



### 令和2年度佐賀県高校生介護技術発表会

福祉を学ぶ高校生が日頃の学習活動で身につけた介護技術をその根拠を示しながら発表し、介護技術の向上に資することを目的とするとともに、ICT活用による県内の福祉を学ぶ高校生の相互交流及び高校生が福祉を学ぶ姿を広く人々に知ってもらうことを目的に動画視聴という形で実施されました。

- ・参加校:神埼清明高校・嬉野高校・北陵高校(以上、福祉系高校)・多久高・唐津青翔高校・牛津高校・佐賀女子高校の7校



### 第10回佐賀県高校生介護技術コンテスト



- ・会場:ゆめぷらっと小城
- ・参加:神埼清明高・嬉野高・多久高・唐津青翔高
- ・「基礎技能部門」と「ベッドメイク部門」
- (基礎技能部門の内容)  
右上下肢麻痺がある80歳女性を介助し、介護者を車いすで移動させ、ボールを使ったレクリエーションなどで自立を支援する。

#### コンテストの流れ

- ①課題送付(6/1)
- ②参加申込・練習・撮影
- ③作品応募(〜7/17)
- ④審査
- ⑤最優秀賞決定!

#### 愛知県大会初!

#### ビデオ審査での開催決定!!

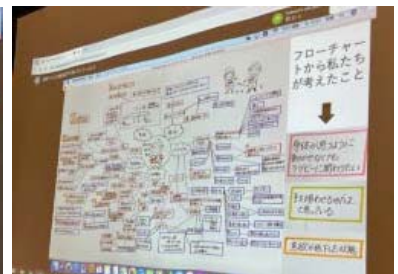
今日は楽しみにしていたデイサービスに浜本さん(70歳・男性)は、新型コロナウイルスへの感染を心配して、外出を控えていました。今日は心待ちにしていた来所日です。自分たちで創作したレクリエーションで浜本さんを元気づけてください!

今こうしている間も、介護現場では多くの介護福祉士が、感染を予防しながら利用者の方お一人おひとりと真剣に向き合い続けています。愛知県大会では、あえて、コロナウイルスに立ち向かう課題に取り組みます。

これまでとは違った方法で実施しましたが、11校(高浜高校・海翔高校・古知野高校・西陵高校・菊華高校:以上福祉系高校、岡崎東高校・瀬戸北総合高校・福江高校・豊田大谷高校・名古屋大谷高校・安城生活福祉高等専修学校)が出場しました。

# 第1回関東地区高校生福祉研究発表会

- 1 名称 第1回関東地区高校生福祉研究発表会
- 2 主催 関東地区福祉高等学校長会  
(群馬県高等学校長協会家庭部会福祉委員会)
- 3 後援 群馬県教育委員会(予定)
- 4 目的 関東地区の福祉を学ぶ高校生が、学校という枠を越えて学ぶ機会をつくり、お互いの意見を尊重し合い協議することで、一人では考えつくことができなかったさまざまな支援の視点に気づき、自立生活支援の方法を創造し問題を解決する。この大会が生徒たちにとって、チームで課題を解決することの第一歩となり、多様なニーズにチームとして関わり、常に高めあえる関係性の構築を目指す態度を身につける。さらに、福祉を学ぶ高校生の学習成果を広く知らしめる機会とする。
- 5 日時 令和2年11月4日(水) 9:00~15:15
- 6 会場 メイン会場:群馬県立吾妻中央高等学校  
※各都県高等学校
- 7 日程 9:30~9:50 開会式  
10:00~10:07 発表1組目  
10:07~10:12 2組目発表準備  
10:12~10:19 発表2組目  
10:19~10:24 3組目発表準備  
10:24~10:31 発表3組目  
10:31~12:00 意見交換会  
12:00~12:45 昼食休憩  
12:45~12:52 発表4組目  
12:52~12:57 5組目発表準備  
12:57~13:04 発表5組目  
13:04~13:09 6組目発表準備  
13:09~13:16 発表6組目  
13:16~14:45 意見交換会  
14:45~15:15 閉会式



## 【第1回長崎嚙下食デザートコンテスト】ファイナリスト：長崎県立口加高等学校

長崎県立口加高校福祉科の生徒が書類審査を通り、決勝へと進みました！  
審査員やメディアに囲まれながらの調理はかなり緊張したと思います。グランプリとまではいきませんでした。貴重な経験ができたと思います。今後も色んなところで活躍して欲しいです！

「じげもんベジタブルデザート～きな粉を添えて～」  
※色合いが綺麗ですね。どんな味がするのか気になりますね。  
(2020年11月8日)



# 介護の日inくまもと2020

～コロナ禍だからできること～

## オンラインアクション「熊本から全国へ！」

昨年10周年を迎えた「介護の日inくまもと」は、KAIGO PRIDE プロジェクトとして大々的に行われ多くのメディアにも取り上げられました。また、関連イベントも全国に広がりを見せつつありますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今年は残念ながらその広がりを一旦止めざるを得なくなりました。しかし、介護の現場で頑張っている仲間たちは、プライドを胸に奮闘しています。介護・福祉の道を志す学生たちも、熱い思いをもって学んでいます。コロナ禍であっても、介護への熱い思いを熊本からオンラインで見直し、全国へ届けます。

配信日時 2020年11月11日 正午(12:00)～  
 料金 完全無料!  
 配信方法 Youtube  
 アドレス <http://kaigonohi.blog.fc2.com/>

QRコードを読み取ってアクセス!



1部

### 高校生による福祉体験発表

県内8校の学生たちが福祉体験を通じた想いを発表

2部

### KAIGO PRIDE オンラインアクション

2019年のプロジェクトでモデルを務めた現役介護職員と、クリエイティブディレクターのマンジョット・ペディ氏をオンラインで繋ぎ、プロジェクトの振り返りや、コロナ禍の今だからこそ感じる想いを語り合うトークセッション



### マンジョット・ペディ氏

TOYOTA などのグローバル戦略を手掛け、CM など多くの作品を手掛けた映像クリエイター。昨年の介護の日 in くまもと 2019 において、熊本県内の介護職員 50 人の selfrespect を表現する映像やポートレート作品をプロデュース。KAIGO PRIDE プロジェクトとして、全国的に注目を集めるアクションとなった。



主催：介護の日inくまもと実行委員会



熊本女子高校 「まっかげ」



城北高校 「福祉の志」



芦北高校 「夢に向かって」



有明高校 「気づき」



八代農業高校 「私にどってのより良く生きる」



阿蘇中央高校 「心開くとき」



熊本高校 「ひいおばあちゃんからの贈りもの」



上天草高校 「変化していく日常」

高校生による福祉体験発表

## みえ介護フェア2020

事前申込制

### 特別講演会

愛し方はみんな違う。悔しくても情けなくても私は愛したい。



脚本家・演出家・女優 遠藤えり氏

2020 11/13(金)・14(土)

対象：どなたでもお申込みいただけます

定員：500名 両日定員超過の場合は抽選

詳細・視聴はコチラ

### オンライン上映会①

ケアニン こころに咲く花



© 2020「ケアニン」製作委員会

2020 11/15(日)

対象：どなたでもお申込みいただけます

※オンライン上映会のご視聴は、①または②のどちらかのみとなります。

定員：200名 両日定員超過の場合は抽選

詳細・視聴はコチラ

### オンライン上映会②

僕とケアニンとおばあちゃんたち。



© 映画「僕とケアニン」製作委員会

2020 11/15(日)

対象：どなたでもお申込みいただけます

※オンライン上映会のご視聴は、①または②のどちらかのみとなります。

定員：200名 両日定員超過の場合は抽選

詳細・視聴はコチラ

### みえ介護技術コンテスト

三重県内で活躍する介護職員等が「介護の仕事」のやりがいを伝え、介護技術を競うことにより、介護の魅力発信すること、質の向上を促すことを目的とします



明野高校チーム



朝明高校Aチーム



朝明高校Bチーム

### メインコンテンツ

令和2年11月9日(月)～15日(日)公開!



みえ介護技術コンテスト



輝く未来のケアニンたち! ~三重県内の介護福祉士養成施設で学ぶ学生たち~



介護を学ぶ高校生の声



福祉機器・介護ロボット等の紹介



のぞいてみよう! 介護のお仕事&クイズ



わたしの介護フォトコンテスト投票



福祉・介護の現場での活躍を目指して頑張る高校生の声を聴いてください!



## バリアフリー考えるきっかけに・上田千曲高校の生徒が車いすでVR動画を撮影

まちのバリアフリーを考えるきっかけにしようと、上田市の高校生が車いすの目線で町を散策するVR＝バーチャリアリティの動画を撮影しました。動画を撮影したのは、上田千曲高校・生活福祉科の3年生・8人です。きのうは、VR動画が撮影できる特殊なカメラを取り付けた車いすに乗り、学校の近くの道路やコンビニなどの商店を撮影しました。

360度同時に撮影してつくられるVR動画は、特殊なゴーグルで見ると、実際に車いすで町を散策しているような感覚を体験できます。

授業で乗ったことがあっても、車いすに乗って町へ出るのは初めてで、参加した女子生徒の一人は、「店では商品が届かない場所もたくさんあるし、道路では傾斜で車いすが持っていかれてしまう部分もあり怖いと感じた」と話していました。

撮影には車いすで暮らす障がい者支援員の吉本茂さんも同行し、歩道に多い金属製のふたに車輪がはまるなど、気づきにくいトラブルも紹介していました。

VR動画は、バリアフリーの研究者や長野大学の学生の協力も得て、11月ごろ完成する予定です。

(信越放送・2020年09月03日)



87

## 介護人材確保へ官民連携の協議会 宮崎県立小林秀峰高等学校

介護の担い手が不足する中、人材の確保を目指そうと小林市で官民連携の協議会が設立されました。

協議会は、市や介護事業所、それに福祉科がある地元の小林秀峰高校が連携して介護人材の確保や定着を目指そうと設立されました。

小林市役所で関係者8人に委嘱状が手渡され、市の担当者が「高齢化率は36%を超え、ことし9月の介護業の有効求人倍率は3.32倍と非常に高くなっている。人材確保に向けた協力をお願いしたい」と述べました。その後、市では5年後に高齢者人口がピークに達し、2040年には高齢化率が40%を超える見通しであることが説明されました。

参加者からは、地元の高校生の県外への流出や、介護分野でもITの活用が進む一方で扱える人材が少ないなど現状の課題が出されました。

社会福祉法人の副理事長を務める男性は「人材確保は本当に厳しいうえ、今働いている人も高齢化で辞めてしまうという悪循環になっている。社会への貢献を実感できる職場づくりが必要だ」と話していました。

小林市では、介護人材の確保ができず計画されていた特別養護老人ホームの建設が断念に追い込まれるなど、すでに影響が広がっています。

また、今後については「高校生や専門学生で学校で介護を学んでも仕事に就く人は減っていて難しさを感じている。この先、福祉や介護に興味を持ってもらえるように中学生などにもアプローチしていかないといけない」と話していました

(NHK宮崎放送・2020年11月11日)



88

福祉について学ぶ高校生が講師となりこれから介護をする世代の男性たちに福祉器具の操作や入浴介助などの方法を教える講座が神埼市で開かれました。

この介護講座は、これから介護をする世代の男性に、介護の基礎知識を持ってもらおうとみやき町社会福祉協議会と神埼清明高校が開いたものです。21日は、神埼清明高校で福祉について学んでいる2年生21人が、参加した65歳から77歳の男性10人に、入浴介助や車いす介助の仕方などを教えました。車いす介助では、車いすで段差を乗り越えるなど動作をする度に相手に声を掛ける事で、意思の疎通ができケガも防げるとアドバイスを送っていました。また、参加者たちは要介護者の役となり、介護される側の気持ちも体験しました。

参加男性：「お風呂の足の入れ方とか、洗い方とか、もう実際自分の母親かかえてますんで、大変勉強になりました。やはり一回経験しとかないとわかりませんからね」

みやき町社会福祉協議会は介護の悩みを抱えている方は、地域の包括支援センターなどに気軽に相談してほしいと話していました。

(佐賀テレビ・2020年10月21日)



## 【佐賀県立神埼清明高等学校】入門研修 介護を身近に 神埼清明高ボランティア部受講

介護の基礎的な知識や実技を学ぶ「介護に関する入門的研修」を神埼市の神埼清明高ボランティア部13人が受講し、修了した。育児が一段落し、仕事復帰を考える人や中高年齢層などが受講する例が多く、高校生では県内初。食品科学や人文教養など福祉以外の学科の生徒も介護の基礎を学んだ。

介護人材の裾野を広げる目的で厚生労働省が制度化し、実施主体は自治体。介護の制度や認知症、障害などに関する基本的な知識と、移動や排せつ、入浴などを支援する実技を学ぶ。計21時間の研修を修了すると、介護職員初任者研修などの資格を取る時に、研修の一部が免除される。

同校には、福祉を学び、介護福祉士国家試験の合格を目指す生活福祉系列があるが、「ほかの生徒にも介護の勉強をできる機会をつくりたい」と校内で開講。他の系列の生徒も集まるボランティア部が受講した。生徒は放課後、90分間の講義を約3週間受講した。

食品科学系列2年の柿本蒼空(そら)さんは「介護は難しそうなイメージがあったが、楽しかった。介護をより身近に感じられるようになった」と笑顔。福祉に興味はあったが、大学進学を考えて人文教養系列に進んだという2年の平川彩音さんは「学べて良かった。寝たきりの人のシーツ交換が難しく、生活福祉系列の友達にアドバイスしてもらった。将来の選択肢としても考えるようになった」と話した。

県長寿社会課によると、2018年度に制度が始まり、佐賀市や鳥栖市など県内3会場で研修を開講。これまで189人が修了している。

(佐賀新聞・2021年02月05日)



県外で福祉を学ぶ高校生や福祉現場の従事者とオンラインでつないだリモート講演が1月28日、神埼市の神埼清明高で開かれた。生徒たちは北九州市の高校生とともに、愛知県の高齢者施設の関係者から先進的な取り組みの話に耳を傾け、介護の仕事のやりがいや未来について考えた。

講師は、神埼清明高で講話したことがある愛知県の特別養護老人ホーム「安立荘」の制野司施設長が務め、同校の担当教師が以前勤めていた縁で北九州市の慶成高校福祉科2年生31人もオンラインで受講。神埼清明高からは生活福祉系列2年生21人が参加した。

制野さんは、介護の仕事の魅力を「利用者へ感謝され、日々、学んだ専門性を生かせる」と説明。施設実習では、教科書との違いを観察することや利用者のことを細かく記録することなどアドバイスした。

また同施設がいち早く取り組んでいる「回想法」を紹介。利用者に昔の記憶を思い出してもらい、昔のことを話したり、昔食べたものを作ったりする療法で、認知症の症状の緩和や利用者との関係性の向上につながったと説明した。

受講した高取夏奈さん＝佐賀市＝は「未来の福祉は暗くないと聞き勇気をもらえた。よりよいサービスができるように、自分で考えて行動につなげていきたい」と話した。

(佐賀新聞・2021年02月01日)



福岡県の高校と愛知県の福祉施設をつないだリモート講演で、利用者への対応など質問する生徒



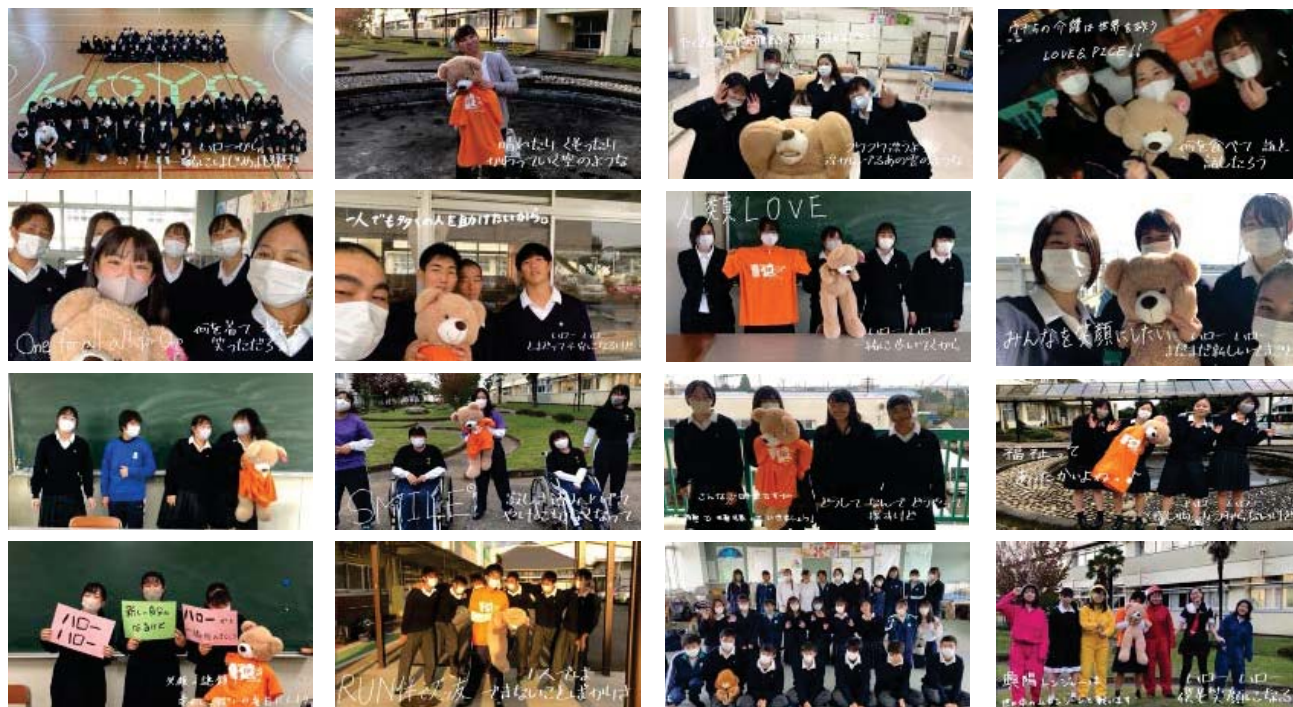
講演の合間の休憩時間に、画面上で交流を図る神埼清明高と慶成高の生徒

## RUN伴+ぐんま《PV製作》 群馬県立伊勢崎興陽高等学校

### 認知症の人と一緒に、誰もが暮らしやすい地域を創る

タスキをつなぐという「非日常な」体験・出会い・気づきから、認知症の人と一緒に誰もが暮らしやすい地域づくりを提案し、それぞれの「日常」が変わっていくことを目指しています。

「RUN伴+ぐんま」とは、私たちが暮らす地域の中には支えを必要としている認知症の人やその家族が沢山いるということ。また、認知症の人やその家族が暮らす地域の中には、沢山の仲間たちがいて力を貸してくれるということを知ってもらうこと。そして、認知症になっても安心して暮らせる町を地域の方々と一緒に創ってきたい。という思いを持つ有志で結成された団体です。



# 第5回宮崎県高等学校英語プレゼンテーションコンテスト

- ・目的 専門学科における学びの成果について英語を使って発表する機会を通して、生徒のコミュニケーション能力の育成を図るとともに、英語学習に対する興味と関心を高める。
- ・主催 宮崎県高等学校教育研究会英語部会プレゼンテーション研究部
- ・共催 宮崎県教育委員会
- ・期日 令和2年1月21日(火) 10:00~16:00
- ・会場 県立図書館研修ホール
- ・参加 総合学科を含む専門学科に在籍する生徒(普通科に係る専門学科は含まない)

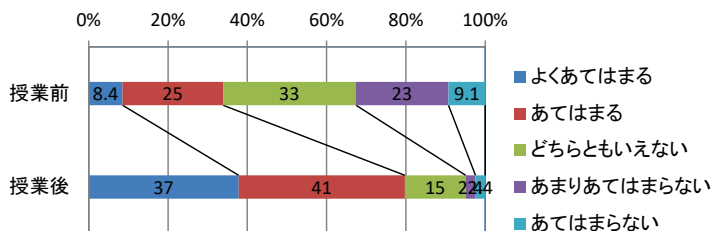


## 鹿児島県立開陽高等学校の取組

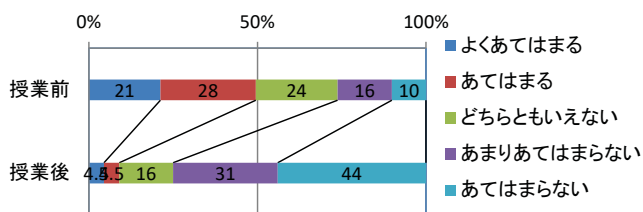
### 谷山中学校 「福祉の学習を通して、介護のイメージを変えよう！」



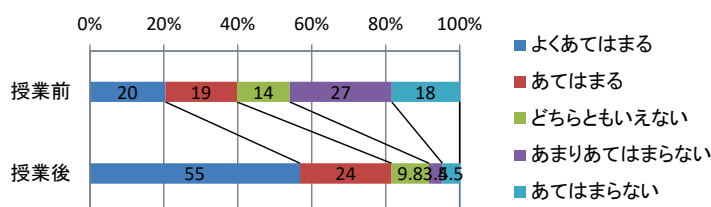
生徒の授業への興味関心



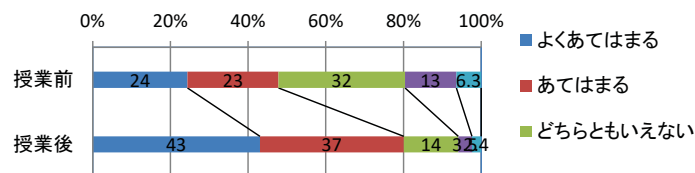
介護の仕事に関するマイナスイメージ



介護ロボットや福祉用具の活用についての関心



介護の仕事は良い仕事だと思う





福祉科とは...

☆介護のスペシャリスト(=介護福祉士)  
を目指して専門的な学習を行います。

<福祉>

= 幸せ  
= よりよく生きること



介護福祉士とは  
すべての人が、自分らしい生活を  
送れるようお手伝いする専門職です!!!!

介護福祉士はどんなことしてるの？



「福祉」とは...

= 幸せ!!  
= よりよく生きること!!

ちなみに...

Welfare(ウェルフェア)  
"Well" = 良く、十分に、健全に  
"Fare" = 生きる、暮らしていく

福祉科での学習

◆介護のスペシャリスト(介護福祉士)  
を目指して専門的な学習を行います。



介護実習室 県内一の設備



「福祉」とは...

⇒すべての人が、  
自分らしい生活が送れること!



高校福祉科では、全国初!!  
現場の介護実習指導者がオンラインで学習支援!!



介護福祉士に求められる  
専門性はどんどん高まり...



確かな介護技術を身に付けるために...

タブレットを活用



介護ってどんなイメージ？

キツイ!

汚い!

給料が安い!



「新しい介護」

介護ロボット↓



福祉科の活躍



福祉を広める活動!

施設夏祭り

介護ふれあい  
フェスタ



「高齢者施設」



「ボランティア活動」



「求人票を比較(高卒平均)」 R1.10月現在  
それぞれ60社で比較

	<介護職>	<一般職>
基本給	約14万~ <b>約18万</b>	約12万
ボーナス	約3.4 ~4.3倍	0~約3.0倍
夜勤手当	1回で約6千円	—
資格手当	約1万弱	—
超過改善手当	約2万5千弱	—

<生徒体験発表> H26 全国大会  
優良賞!



H25 全国大会 R1 県大会・九州  
文部科学大臣賞! 大会最優勝賞  
→全国大会出場!



# 【福祉科の理解資料】鹿児島県立開陽高等学校全日制福祉科学科紹介スライド

**<高校生介護技術コンテスト>**

H26-28 県大会 優勝!  
H25 全国大会 →九州大会 奨励賞!  
R1 県大会 優勝!  
→九州大会出場  
→浦添市長賞受賞 (特別賞)

**米盛病院**

**アルテンハイム鹿児島**

認知症カフェ開催にしているカフェへ

**「地域創生人材育成プロジェクト」**

高・大連携講座      手話講座

保健センター講話      訪問マッサージ

R1開陽にじいろカフェ

**地域福祉の交流学習**

たにっこりん (南部種子集いの広場)      南部保健センター      高齢者福祉交流センター

開陽高校 福祉科で取得可能な資格

- 普通救命講習 修了
- 認知症サポーター
- 社会福祉・介護福祉検定
- ビジネス文書実務検定

97

# 【福祉科の理解資料】鹿児島県立開陽高等学校全日制福祉科学科紹介スライド

開陽高校 福祉科で取得可能な資格

- 介護職員初任者研修 (旧ホームヘルパー2級)
- 医療的ケア基礎研修
- 介護福祉士国家試験 受験資格

**「幅広い進路選択」**

就職

- ・ 高齢者施設 (特別養護老人ホーム、総合病院など)
- ・ 障害者支援施設
- ・ 一般企業 (カクイックスなど)

介護福祉士国家試験「合格率」

H19・H26・H28・H29・R1年度

**合格率100%！全員合格！！**

★ 県内でも随一の高い合格率！

過去3年間の本校の平均合格率96.4%  
(R1年度の全国平均合格率：69.9%)

**校訓「夢・実現」**

ふつうの (普通)  
くらしの (暮らし)  
しあわせ (幸せ)

をサポートできる  
介護のフロを目指して…！！

**「幅広い進路選択」**  
H27年度卒業生～

進学

- ・ 鹿児島国際大学 (福祉社会学部)
- ・ 鹿児島女子短期大学 (幼・保)
- ・ 医療福祉専門学校 (理学療法)
- ・ 高等看護専門学校
- ・ 原田学園 (こども、グラフィック)
- ・ KCS専門学校 (情報処理)
- ・ 県美容専門学校
- ・ 今村学園 (調理・柔道整復師)

## 福祉科の学科紹介

公開日 2020年12月17日  
最終更新日 2020年12月17日

中高連絡会での福祉科の生徒による学科紹介の動画を公開いたします。  
福祉に興味のある中学生や保護者の皆様、ぜひご覧ください。  
<https://youtu.be/RPb8G8zAr2I> (外部サイト)

